

桂



栗原市立
金田小学校閉校・金田幼稚園閉園記念誌



金田っ子

見守り続けた

大きな桂

ありがとう

～みらいにつなぐ栗原市閉校記念誌～

2013.03



| | |
|-----------------------------|-------------------------------|
| 🗨️ あいさつ | |
| 金田小学校の閉校、金田幼稚園の閉園に寄せて | 栗原市長 佐藤 勇 1 |
| 金田小学校の閉校、金田幼稚園の閉園に寄せて | 栗原市教育委員会 教育長 亀井 芳光 2 |
| 金田小学校閉校・金田幼稚園閉園に寄せて | 栗原市立金田小学校長・栗原市立金田幼稚園長 大竹 恵子 3 |
| 感謝・・・そして「ありがとう」 | 閉校・閉園記念事業実行委員会 三浦 栄 4 |
| 金田小学校閉校にあたって | 金田小学校PTA会長 和良品賢朗 5 |
| 🎵 校歌・校旗・校章 6 | |
| 📷 金田小学校の沿革 7～10 | |
| 📄 学校の概要 11～12 | |
| 📝 寄稿文 | |
| ～昭和初期～ 私の遠い思い出 「授業」 | 昭和18年度卒業生 白鳥 豊 13 |
| | 子と親と地域との絆を忘れずに！ |
| | 第35代校長 津軽 徳聰 13 |
| ～昭和中期～ あの頃思い起こせば・・・ | 昭和26年度卒業生 佐藤 一臣 14 |
| | 金田小学校の思い出 |
| | 昭和31年度卒業生 和良品凱史 14 |
| | 故郷の山河に響け大歓声 |
| | 昭和35年度卒業生 佐藤喜志男 15 |
| | 楽しかった金田小 |
| | 元職員 佐藤 司(旧姓 大場) 15 |
| ～昭和後期～ 金田小学校は私の宝物 | 昭和46年度卒業生 佐藤 秀子 16 |
| | 私の『金田っ子』時代 |
| | 昭和49年度卒業生 佐藤 徳昭 16 |
| | 親父のような先生 |
| | 昭和51年度卒業生 佐藤 雅博 17 |
| | 金田小学校は永遠不滅 |
| | 昭和52年度卒業生 熊坂 祝久 17 |
| | 思い出の我が母校 |
| | 昭和54年度卒業生 遠藤 俊哉 18 |
| | 遊び |
| | 昭和51年度卒業生 千葉 和彦 18 |
| | いつまでも金田っ子 |
| | 昭和56年度卒業生 長谷川千佳子 19 |
| | 思い出の金田小学校 |
| | 職員(昭和54年～55年度) 萩田隆児 19 |
| | 校木「かつら二世」誕生の由来 |
| | 第15代PTA会長 白鳥 文雄 20 |
| ～平成～ 金田小での思い出 | 平成元年度卒業生 佐藤 聡 20 |
| | 会津の英霊達 |
| | 平成元年度卒業生 高梨 真 21 |
| | 思い出の川口ばやし |
| | 平成元年度卒業生 佐々木きみ子 21 |
| | ありがとう金田小学校 |
| | 平成2年度卒業生 佐藤 千暁 22 |
| | 野球を学んだあの日 |
| | 平成14年度卒業生 中鉢 勝仁 22 |
| | 学び舎の閉校に寄せて |
| | 平成14年度卒業生 伊藤 佳奈 23 |
| | 野球に夢中だったあの頃 |
| | 平成18年度卒業生 山口 秀 23 |
| | 懐かしい思い出 |
| | 平成20年度卒業生 佐藤 有紀 24 |
| | ありがとう金田小学校 |
| | 平成23年度卒業生 尾崎 惟 24 |
| | 金田小の伝統は輝き続ける |
| | 元職員(平成元年～6年) 高橋 隆志 25 |
| ～コラム～ 川口ばやしと金田小学校・想いを題字に込めて | 25 |
| ～在校生～ | ～第1学年～ 26 |
| | ～第2学年～ 27 |
| | ～第3学年～ 28 |
| | ～第3学年・第4学年～ 29 |
| | ～第4学年～ 30 |
| | ～第5学年～ 31～32 |
| | ～第6学年～ 33～34 |
| ～職員から～ | 35～36 |
| 📷 思い出のアルバム | |
| | ～教育目標と特色ある活動～ 37 |
| | ～学校行事～ 38～39 |
| | ～写真で見る金田小学校～ 40～41 |
| 📖 幼稚園のページ | |
| 園舎と園歌～金田幼稚園 | 42 |
| 金田幼稚園の沿革 | 43 |
| 思い出のアルバム | ～金田幼稚園のあゆみ 44～45 |
| 寄稿 | ～ちゅうりっぷ組 46 |
| | ～きく組 47 |
| 🙏 あとがき | |
| | 栗原市立金田小学校教頭 佐々木正弘 48 |





金田小学校の閉校、金田幼稚園の閉園に寄せて

栗原市長 佐藤 勇

迫川の清らかな流れ、四季を通じて美しい景観を呈する牛渕溪谷を有する山紫水明の金田の地で、子どもたちに多くの学びを与えてきた金田小学校並びに金田幼稚園が閉校・閉園するにあたり一言ごあいさつ申し上げます。

明治6年に「洞林寺」を仮校舎として開校以来、140年にわたる長い歴史をもつ金田小学校は、地域住民の方々の学校教育に対する御理解、御協力のもと地域の温かな目に守られ、健全な児童育成の伝統を築き上げてこられました。

恵まれた地域環境の中、学校及びPTAまた児童個人にわたり幅広い分野において多くの優良受賞をされておりますことは、歴代の校長先生をはじめ、教職員、関係者の皆様の並々ならぬご尽力に対し、深く敬意と感謝の意を表する次第であります。

また、昭和43年には金田幼稚園が一迫町立幼稚園金田分園として設立され、多くの優れた人材を世に送り出し、県内外におきまして、幅広い分野で御活躍されておりますことは、金田地区の皆様の長年にわたる温かい御支援の賜であり、厚く御礼申し上げます。

さて、長い歴史のある金田小学校並びに金田幼稚園では、開かれた学校を目指し、保護者をはじめ地域の方々の学校教育に対する関心が高く、運動会や学芸会、金田っ子フェスティバルなどに地域を挙げて参加されるなど、地域と学校との確かな信頼関係を築いてこられました。

こうした環境の中、「明日を拓く、心豊かでたくましい子どもの育成」を教育目標に、幼小合同の活動をはじめ、縦割り活動や地域住民の皆さんとの交流、施設を活用しての学習を積極的に行うことで、郷土を知り、地域を愛する教育に力を入れ、思いやりや感謝、尊敬する心を育まれてきました。特に、古くから地域に伝わる郷土芸能「川口ばやし」の継承に全校を挙げて取り組むとともに、講師の生き方にふれることで、地域の一員としての自覚を高められてこられました。

さらに、自ら学び自ら考える力の育成のため、業前の「きらりタイム」での反復学習や、放課後の「ふれあいタイム」での個別指導、長期休業中の「ケアタイム」での補充・発展学習を組み合わせ、児童一人ひとりの基礎・基本の徹底を図られたことは、市内小学校の学習活動におきまして、良き模範として挙げられるものであります。

このように歴史と伝統ある金田小学校並びに金田幼稚園が、今日の社会的な問題である少子・高齢化の傾向による児童・園児の減少などの背景から、栗原市においても学校の再編が避けられず、本年3月31日をもって校史・園史を閉じることとなりましたことは、非常に残念でなりません。これまで金田小学校並びに金田幼稚園を巣立った皆様にとって、母校の閉校・閉園は何事にも耐え難い寂しさであり、また、地域の皆様の愛惜の念も深いものと拝察いたします。しかし、ここで歴史が終わるのではなく、これからは次代へ金田の歴史と伝統が受け継がれていくよう願うものであります。

今後、「学府くりはら」の実現に向けて、教師と子どもたちがしっかりと向き合い、学校生活に満足感や達成感がこれまで以上に得られる教育環境づくりを目指すとともに、金田小学校並びに金田幼稚園が育んだ歴史が長く受け継がれ、新しい地域の歴史が築かれていくことを心から御祈念申し上げます、閉校記念誌発刊のあいさつといたします。



洞林寺





金田小学校の閉校、金田幼稚園の閉園に寄せて

栗原市教育委員会

教育長 亀井 芳光

金田小学校は私の教員生活の中で二度にわたり勤務させていただいた思い出多い学校であります。最初は代替教員として昭和47年5月から8月までの僅か3ヶ月弱の期間でした。当時は小学校と中学校が隣接しており、また児童数も多かったと記憶しています。宿直もあったので、夜になると中学生が勉強を見てもらいに宿直室をよく訪ねてきてくれたことも思い出であり、学区には高校時代の同級生も多かったので大変助けられました。二度目は昭和63年から平成3年3月までの3年間お世話になりました。図工科の公開研究会を終えた年でしたが、すばらしい作品が展示されており、その取り組みの成果に目を見張りました。

また、地区の方々が、昔から受け継がれてきた川口囃子の再興と継承に取り組んでいた時期でもあり、4年に一度開催される火伏祭りで、街を子どもたちと一緒に練り歩いたことも楽しい思い出として胸に刻まれています。地区の方々も教育に熱心であり、学校に対して協力的であったことから、交流する中で多くのことを学ばせていただきました。金田小学校で教えた子どもたちが私の担任した最後の学級であり、忘れることのできない多くの財産をいただいたすばらしい学校であります。

そのように地域にとっても、私にとっても思い出多い金田小学校は平成25年4月、一迫小学校・姫松小学校・長崎小学校と再編し、新生「一迫小学校」として現在の一迫小学校校舎のもとでスタートすることになりました。再編にあたり、ご理解とご協力をいただきました金田地区の皆様にご心より感謝申し上げます。

地域の皆様や多くの卒業生にとって地域に密着し、歴史と伝統のある学校が閉じられるということに一抹の寂しさを覚えるのは当然のことと思います。しかしながら、児童数が著しく減少し、今後も減少傾向が続く現状を踏まえ、また、急激に変化する時代に生きる子どもたちの将来を考えると、学校再編は避けて通ることはできません。

再編後は、子どもたちも地区の皆様もこれまで脈々と受け継がれてきた金田小学校・金田幼稚園の輝かしい歴史と伝統を受け継ぎ、新しい出会いを喜び、共に学び、励ましあいながら、新しい伝統を築き上げ、「地域とともに歩む 新しい学校・幼稚園」の創造に向けて取り組んでいってくださることを信じてやみません。その実現のためには、地域・家庭・学校・教育委員会ははじめ関係機関との連携が大切であります。新たに仲間となる4つの小学校、そして、2つの幼稚園の子どもたち、保護者、地域の皆様との交流を深め、「再編してよかった」と語り継がれる新しい学校・幼稚園を創り上げていただきたいと願っております。

結びに、閉校・閉園にあたり、これまでの永きにわたり金田小学校及び金田幼稚園を温かく見守り、支えていただきました地域の皆様にご心より敬意と感謝を申し上げまして、閉校記念誌に寄せる言葉といたします。

雪と校舎



金田小学校閉校・金田幼稚園閉園に寄せて

栗原市立金田小学校長・栗原市立金田幼稚園長
大竹 恵子

金田小学校は、洞林寺の本堂を仮教室に、明治6年川口小学校として開校、その後明治18年に嶋躰小学校を併合の後、昭和22年に金田小学校と名称を替え、今年度で140年になります。昭和22年には620名いた児童も現在は56名。社会情勢の変化と共に児童数が大幅に減少しており、より学び合える教育環境づくりのため、一迫小、姫松小、長崎小と統合し、新生一迫小学校として生まれ変わることから、本校は閉校することとなりました。また、金田幼稚園は昭和43年幼稚園としての認可を受け、今年で45年になります。恵まれた自然環境の中でのびのびとした幼稚園教育が行われてきましたが、発達や学びの連続性から、小学校の再編と併せて一迫幼稚園との統合が決まり、金田幼稚園も閉園することになりました。

小学校は、教育熱心な保護者の方々と地域の協力を得て、早くから研究授業の公開や学力向上に向けた取り組みが盛んに行われてきた伝統があり、素晴らしい人材をたくさん輩出してきました。現在の子供たちも、目標をしっかりと持ち努力を重ね、学力を高め技能を伸ばし、多方面での輝かしい活躍を見せています。また、縦割り活動が盛んで、縦割りでの運動や遊び、行事などさまざまな取り組みを行ってきました。平成18年からは幼稚園と、運動会や学芸会、フェスティバル、安全教室などの行事を合同で行い、幼小連携を取り入れた教育活動も行ってきました。下級生が上級生を慕い、上級生が下級生の面倒を見ることを当たり前とし、子供たち同士の間にも自然に温かい関係が築かれています。幼稚園児が5・6年生に手を引かれ一緒に競技する運動会は、会場をいっぱいの笑顔で包む微笑ましい光景でした。

また、教育活動では、地域の方々から直接ご指導いただく機会も多く、子供たちは、地域の歴史や文化、産業を、体験や講話を通して学ばせていただき、郷土に誇りと愛着を持ってきました。さらに活動の中での多くの人との関わりから、優しい心も育てていただきました。子供たちの心にふるさと金田の良さがしっかりと刻まれています。中でも、地域に伝わる伝統芸能「川口ばやし・御前ばやし」は川口ばやし保存会の方々やPTAの方々のご協力により、太鼓や笛、鉦などお囃子の道具や法被もそろえていただき、学校教育に取り入れ30年あまり継承してきております。引き継ぎにあたっては、年度末に保存会の方々の指導をいただき、「金田火伏せ祭り」「政岡祭り」、運動会などで披露し、地域のみなさんに喜んでいただけてきました。

地域の支えですばらしい教育環境にあった金田小学校・金田幼稚園の閉校・閉園は、非常に残念ではありますが、これから子供たちは、新生「一迫小学校」・「一迫幼稚園」で、新たな友達に出会うこととなります。多くの友達ができることで、互いに学び合い競い合い自己を高め、更なる成長を遂げていくことでしょう。やがて、そうした環境で培った力を発揮し、堂々と日本や世界を駆け回り活躍していきける人となってくれることを願いたいと思います。

最後に、本校・本園の教育に、今まで、たくさんのご指導やご支援をいただきました皆様方に、改めて心から感謝申し上げ、閉校・閉園にあたっての挨拶とさせていただきます。





感謝。。。そして『ありがとう』

金田小学校・金田幼稚園閉校・閉園記念事業実行委員会
三浦 栄

いよいよ現実となった金田小学校の閉校・金田幼稚園の閉園。

当時小学生だった私の知る金田小学校は1クラス40名前後の児童で2クラス編成、全校で400名ほどの児童でいっぱいの学校でした。それから40年の時の経過とともに人口減少と過疎化が進み、時代の波がそうさせたのかと思うと一抹の寂しさを感じるのは私だけでしょうか。

また、仲間と共に過ごし、たくさんの思い出と素晴らしい伝統を作り上げてきた、金田小学校と金田幼稚園の歴史の幕引きの一員となったことの巡り合わせに、改めてその責任の重さを感じております。

諸先輩方が残されました膨大な資料の中から、少しでも多くの思い出を形に残そうと実行委員のみなさんに多大なご苦勞をかけましたが、私自身、記念誌に掲載する写真を眺めては懐かしさからしばしの時間思い出にふけ、寄稿されました原稿を読んでは改めて感動し、内容の検討もままならない状況でした。

青く澄み切った空と迫川の清流、そして広大な「金田の荘」に見守られた校舎、壁、廊下、天井そして校庭の土、「桂」をはじめとした木々のもとで育まれた子供たち それぞれに歴史を刻んできました。そっと手を当て目を閉じると、その時代にタイムスリップでもしたような錯覚に陥ってしまうようです。

学校と幼稚園の機能は無くなりますが、共に過ごした思い出は永遠にみなさんの心の中に生き続けることでしょうか。地域のよりどころとして残された校舎、園舎をどのように活用していくか今後の大きな課題でもあります。

私たちの役割として、地域の文化と歴史の継承がここで終わりなのではなく新たな一歩であると捉え、語り継いでいきたいと思っております。

この記念事業として、鈴木石材店さんのご協力により、金田小学校校歌と学校と幼稚園の沿革を刻んだ石碑を建立しました。また、校舎と園舎をモチーフにした手ぬぐいと思い出た皆さんの記念誌を作成し、行政区長さんのご協力で金田地区毎戸に配布いたしました。

これから先、それぞれの家庭や地域で「ふるさと金田」を風化させないように語り継いでいく手本として、記念事業の成果品を活用できれば幸いです。

最後に、記念行事の企画と記念誌作成にあたり、お忙しい中思い出に残る皆さんの情報提供と寄稿いただきました皆様、記念事業の財源確保のためPTAが実施した廃品回収やバザー等の事業にご理解とご協力いただきました地域の皆様、当該事業にご理解をいただき地域のみなさんに広く周知していただきました行政区長さん、そして記念行事の成功を目指し、一生懸命打ち合わせと作業をしていただきました先生方、PTAの皆様「感謝」を申し上げ・・・「ありがとう」を添えたいと思います。



一迫町立金田小学校



大崩分校



金田小学校閉校にあたって

金田小学校PTA会長
和良品 賢朗

父母の皆様、地域の皆様におかれましては日頃よりPTA活動にご理解とご協力を頂き誠にありがとうございます。

さてこの度、平成25年3月末日をもって、140年の歴史を誇る金田小学校が閉校することとなりました。栗駒山の麓、迫川が創り出した扇状地、両脇に小高い山々を抱き、四季折々の風景を見せてくれる風光明媚な土地に位置する金田小学校。学び舎として学校行事はもとより、火伏せ祭り、盆踊り大会、スポーツ大会、秋の運動会、敬老会など、地域の方々の交流の場としてこれまで永きに渡り利用されてきました。時代の流れと言ってしまうとそれまでですが、大変残念であると同時になにか寂しさが込み上げてくる、きっと皆さんも同じ気持ちではないでしょうか。

明治初期、地元川口にあるひとつのお寺を学び舎とし金田小学校の歴史が始まりました。当時は今と違って義務教育ではなく、決して裕福な時代でもなく、通いたくても通えない子がたくさんいたに違いありません。この記念誌の作成に携わる中で、たくさんの古い写真に出会うことができました。その中の一つ、小さな子供を背中に背負ったまま写っている大正時代の集合写真がありました。学校に通っていたとはいってもその家の労働力のひとつとなり、幼い妹や弟の世話をしながら学んでいたのでしょう。大変な時代です。そしてこれまで、幾度も戦争を乗り越え、やがて小中学校は義務教育となり、高度経済成長を経て豊かになり、今は児童全員が不自由なく小学校に通える時代です。きっと当時の人たちもそんな時代を望んでいたに違いありません。

この記念誌の中で振り返ることができるのはこれまでの歴史の中のほんの一部にすぎませんが、金田小学校に通った皆さんや地域の方々、教壇に立たれた先生方のたくさんの思い出の引き出しを開ききっかけになって頂ければ幸いです。そして、ぜひ金田小学校のことをこれから先の世代に伝えていくて欲しいと思います。

昭和50年4月、私は金田小学校に入学しました。大きな校舎（当時は木造）、大きな太い校木、広い校庭、大きな上級生、小さかった私にはすべてが大きく見えました。入学式はとても緊張していたのを覚えています。そして5年後、最上級生となった私たちは小さな1年生を迎えることとなったのです。そういったことが百数十回も繰り返され、そして今、終焉を迎えようとしています。残念ではありますが、ただ、これからの子供たちにとっては新しい環境の中で、より多くの仲間と出会い、より多くの経験をするチャンスです。きっと優しく逞しく成長して社会に巣立っていってくれると思います。

私事ですが、娘が金田小学校最後の卒業生となり、私も最後の一年間のPTA会長を仰せつかりました。これも何かのご縁、大変光栄な事と思います。これまで支えて下さった地域の皆さん、父母の皆さん、そしてご指導下さった先生方に心より感謝申し上げます。

金田小学校は閉校します。新しい環境で未来に向かって進む「金田っ子」に、引き続き温かい目で御指導を賜りますようお願い申し上げます。



金田小学校 校歌

白鳥 省吾 作詞
大石 進一 作曲

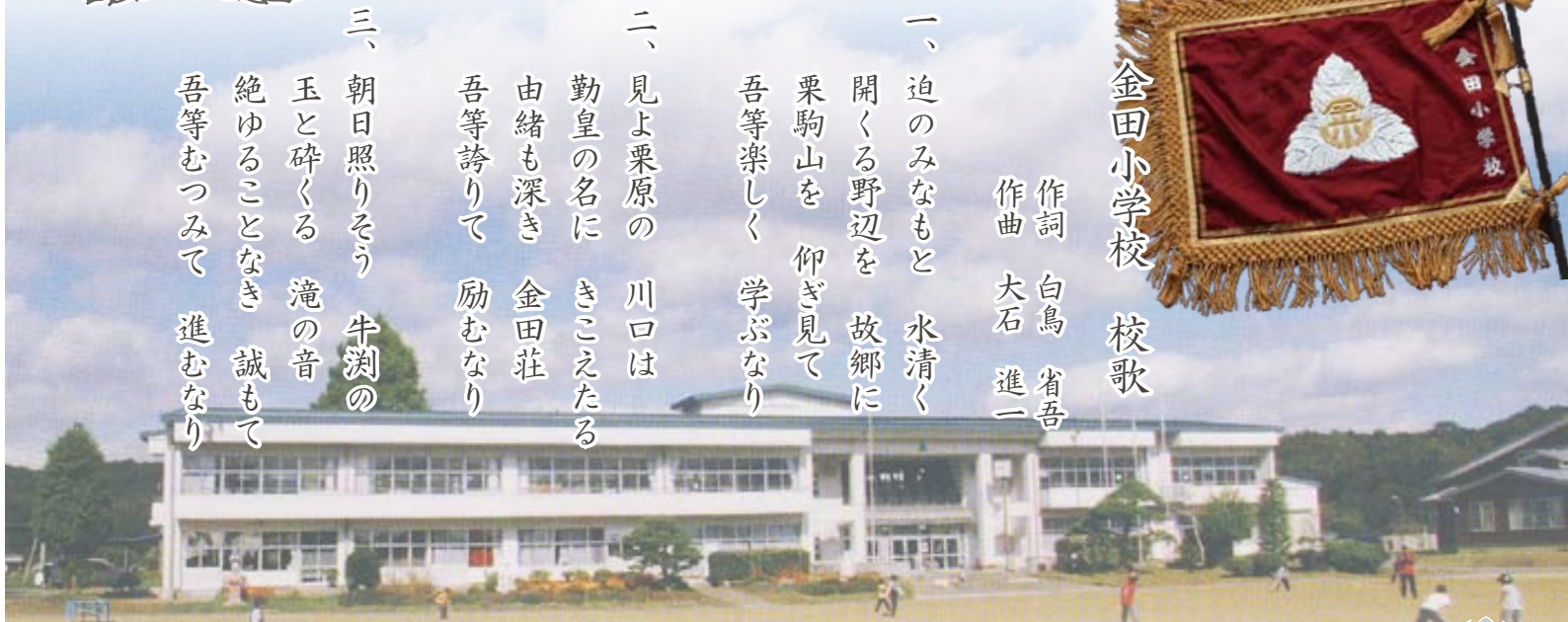
1. は
 こまのみなもとみーすきよくひ
 らくるのべをふるさとーにく
 りこまーやまをあおぎみてわれ
 らたのしーくまなぶなーりま。



金田小学校 校歌

作詞 白鳥 省吾
作曲 大石 進一

- 一、迫のみなもと 水清く
開くる野辺を 故郷に
栗駒山を 仰ぎ見て
吾等楽しく 学ぶなり
- 二、見よ栗原の 川口は
勤皇の名に きこえたる
由緒も深き 金田荘
吾等誇りて 励むなり
- 三、朝日照りそう 牛湫の
玉と砕くる 滝の音
絶ゆることなき 誠もて
吾等むつまじく 進むなり





金田小学校の沿革

| 年 | 月 | 日 | 児童数 | 概要 | 歴代校長 | |
|----|----|----|-----|------------------------------------|-------------------------|-------|
| 明治 | 2 | 3 | 28 | 栗原県設置 | | |
| | 6 | 6 | 25 | 54 川口小学校を洞林寺に開校（男50 女4） | | |
| | 7 | 4 | 45 | 嶋躰小学校を開設 | | |
| | 8 | 4 | 50 | | | |
| | 9 | 4 | 76 | 優等生制度を設ける | | |
| | 10 | | 80 | 校舎建築に着手したが上棟式のみで終わる | | |
| | 11 | | 95 | 校舎解体、民家や教員自宅を教場とする | | |
| | 12 | 9 | 103 | 学制を廃止し、教育令公布 | | |
| | | 12 | | 建築中校舎大雪で倒壊 | | |
| | 13 | 4 | 107 | | 大津 千尋 | |
| | 14 | 4 | 110 | | | |
| | 15 | 4 | 115 | 修業年限を6年とする | | |
| | 16 | | 125 | 校舎再建議決 | | |
| | 17 | | 186 | 金田村、長崎村、花山村三ヵ村で連合し校舎再建着工 | | |
| | 18 | 10 | 21 | 228 新校舎（2階建て10教室）落成 | | |
| | 19 | | 202 | | | |
| | 20 | 5 | 305 | 川口高等尋常小学校と改称 | 梶目謙三郎 | |
| | 21 | | | 校木「かつら」を植樹 | | |
| | | 2 | 21 | 402 | | 木村 見吾 |
| | 22 | 6 | 30 | 267 長崎村、花山村との連合を解き、金田村の独立自治となる | | |
| | | | | 高等科を廃し、川口尋常小学校と改称 | | |
| | | 9 | 12 | | 台風雨で校舎大破損 | 大津 千尋 |
| | 23 | 11 | 11 | 241 教育勅語謄本下賜 | | |
| | 24 | 8 | 30 | 278 校舎大修理、机、腰掛け新調 ヴァイオリン寄贈（12月30日） | | |
| | 25 | | | 316 | | |
| | 26 | 2 | 11 | | 奉安室新設、天皇・皇后両陛下御真影奉載 | |
| | | 6 | 28 | 290 | 校舎東袖、階上階下を村役場とする | 戸板 二郎 |
| | 27 | 3 | 31 | | 第1回川口尋常小学校卒業式（男32 女7） | |
| | 28 | 5 | 11 | 292 | 第1回運動会開催 | |
| | 29 | 7 | 1 | 322 | | 黒田源之助 |
| | 30 | | | 300 | | |
| | 31 | 4 | 1 | 343 | 教員宿直制度実施 | |
| | 32 | 3 | 15 | | 嶋躰小学校を廃し門出分校とし、川口小学校に属す | 遠藤 政平 |
| | 33 | 4 | 1 | | 高等科を併置し、川口尋常高等小学校と改称 | 成瀬雄之進 |
| | 34 | | | 454 | 第1回高等科卒業式（男19） | 菅原 臣六 |
| | 35 | 7 | | 431 | 氏家俊治郎校医委嘱 | |
| | 36 | 1 | 8 | 376 | 校訓制定 | |
| | 37 | 4 | | 378 | | 佐藤 正吉 |
| | 38 | 4 | | 341 | | 松浦力之輔 |
| | 39 | 4 | | 336 | 門出分校3年までとする | |
| | 40 | | | 361 | | |
| | 41 | | | 350 | | |
| | 42 | | | 362 | | |
| 43 | 1 | 28 | 385 | 村立川口実業補修学校設置 | | |
| 44 | | | 396 | 門出分校4年までとする | 鹿野重太郎 | |
| 大正 | 元 | | 399 | | | |
| | 2 | | 381 | 校舎屋根全部葺替 | | |
| | 3 | 4 | 370 | 5、6年複式学級とする 藩祖政宗公塑像拝受 | | |
| | 4 | 10 | 28 | 375 今上陛下御真影拝載式 | | |
| | 5 | 2 | 11 | 384 職員室、小使室に電灯据付 | 小川 真清 | |
| | 6 | 4 | 1 | 403 尋常科全部単学級になる | | |
| | 7 | 4 | 27 | 441 門出分校に政宗公塑像拝受 | | |
| | 8 | | | 459 | | |
| | 9 | 10 | 18 | 468 | | 工藤藤太郎 |
| | | 12 | 9 | | | 菅原 留治 |
| | 10 | | | 525 | | |
| | 11 | | | 537 | | |
| 12 | 1 | 26 | 561 | 東宮殿下御成婚記念として川口小学校御真影奉安所一宮寄附 | | |





| | 年 | 月 | 日 | 児童数 | 概要 | 歴代校長 |
|----|----|----|-----|----------------------|-----------------------------------------|-------|
| 大正 | 13 | 5 | 15 | 567 | 皇太子御成婚記念校章桜紋制定 | |
| | | 10 | 12 | | 体操授業公開 | |
| 昭和 | 14 | | | 593 | | |
| | 元 | 12 | | 585 | | |
| | 2 | | | 617 | | |
| | 3 | 11 | 1 | 636 | 天皇皇后両陛下の御真影拝載 | 庄司 秀寿 |
| | 4 | 4 | 14 | 648 | 小学校新築請負入札 | |
| | | 4 | 29 | | 地鎮祭、起工式举行 | |
| | 5 | 5 | 1 | 668 | 木造スレートぶき、2階建て新校舎落成、記念運動会開催 | 佐竹 馨 |
| | | 10 | 30 | | 稲穂で小を囲む、記念校章制定 金田村少年団結成（5年生以上） | |
| | 6 | 4 | 15 | 654 | 青年団、桜20本記念植樹 | |
| | | 9 | 10 | | 「協和の池」完成 | |
| | 7 | 4 | | 670 | 校庭周囲に堤防築く（全村民奉仕作業） | |
| | | 11 | 3 | | 第1回読方科授業公開 | |
| | 8 | 1 | 1 | 683 | 歴代校長肖像画掲揚式、大時計寄贈（3月16日） | |
| | 9 | 2 | 11 | | 校歌制定（作詞 白鳥省吾 作曲 大石進一）披露式 校旗寄贈（同窓会より） | |
| | | 7 | | 700 | 国旗掲揚塔寄贈 | |
| | 10 | 8 | 1 | 696 | 実業補修学校を廃し、青年学校を開く | 千葉 繁 |
| | 11 | | | 723 | | |
| | 12 | | | 710 | | |
| | 13 | | | 725 | | 今野 定雄 |
| | 14 | | | 720 | | |
| | 15 | | | 712 | | |
| | 16 | 4 | 1 | 726 | 金田国民学校と改称 | |
| | 17 | 3 | 31 | 738 | | |
| | 18 | 10 | 28 | 732 | 第1回村民体育大会開催 | 末永 孝一 |
| | 19 | | | 739 | 学徒動員令発令 | 工藤 要作 |
| | 20 | 8 | 15 | 748 | 戦争終結 | |
| | 21 | 2 | 7 | | 奉安殿撤去 | |
| | | | | 783 | | 長沼 実 |
| | 22 | 4 | 1 | 620 | 金田村立金田小学校と改称 P T A 結成 門出分教場を大崩分校と改称 | 菅原 博 |
| | 23 | 4 | | 637 | 教頭の学級担任を廃する | |
| | 24 | 4 | | 608 | 養護教諭配置 | |
| | 25 | 4 | | 588 | 事務補佐員配置 | |
| 26 | | | 586 | | | |
| 27 | 4 | | 547 | | 菊地 勝見 | |
| 28 | | | 535 | | | |
| 29 | | | 575 | | | |
| 30 | 4 | | 589 | 町村合併により、一迫町立金田小学校と改称 | | |
| 31 | 4 | | 621 | 県教育委員会より統計教育研究校に指定 | | |
| 32 | 4 | | 657 | | | |
| 33 | 8 | 20 | 695 | 大崩分校新校舎完成 | | |
| 34 | | | 716 | | | |
| 35 | 4 | 1 | 664 | | 菅原 幸一 | |
| | 10 | 20 | | 国語教育研究公開 | | |
| 36 | 7 | 1 | 652 | 学校薬剤師配置（三浦義礼氏） | | |
| 37 | | | 622 | | | |
| 38 | 4 | 1 | 549 | 県教育委員会より学力向上対策協力校に指定 | 伊東 真一 | |
| | 12 | 14 | | 給食室落成 完全給食を実施（16日～） | | |
| 39 | 6 | 23 | 521 | 文部省学力テスト（国語・算数）実施 | | |
| | 11 | 24 | | 学力向上対策協力校指定の研究公開 | | |
| 40 | | | 468 | | | |
| 41 | 4 | 23 | 452 | 町村合併10周年記念祝賀鼓笛行進 | | |
| 42 | 1 | 13 | | 町給食センター完成のため給食室廃止 | | |
| | 4 | 1 | 400 | 特殊学級設置 町事務補佐員配置 | 谷田 了誓 | |



金田小学校の沿革

| 年 | 月 | 日 | 児童数 | 概要 | 歴代校長 | |
|----|----|----|------------------------------|-----------------------------------------------------|-------|-------|
| 昭和 | 43 | 3 | 30 | 大崩分校閉校式 | | |
| | | 4 | 347 | 金田分園長を小学校長が兼務する | | |
| | | 6 | 25 | 明治100年記念植樹 道徳教育公開(10月1日) | | |
| | 44 | 4 | 341 | 宿直代行員制度実施 | 遊佐 強 | |
| | 45 | 4 | 297 | 手をつなぐ親の会結成 プール建設起工式(6月2日) | | |
| | 46 | | 260 | | | |
| | 47 | 8 | 7 | 221 用務員室改造 | | |
| | 48 | 4 | 201 | 創立100周年記念事業(ときわ公園設置、植樹、テニスコート設置、100周年誌刊行等) 現在の校章となる | 狩野 義章 | |
| | 49 | | 200 | | | |
| | 50 | 4 | 175 | | 菅原 饒 | |
| | 51 | | 175 | | | |
| | 52 | 4 | 1 | 178 学校の警備を警備会社に委託 | | |
| | 53 | 2 | 20 | 校舎新築移転、新校旗樹立式 5月21日(川口教友会寄贈) | | |
| | | 10 | 12 | 177 文部省指定道徳教育研究公開 | | |
| | 54 | 4 | 177 | | | |
| | 55 | 2 | 3 | 157 体育館落成記念学芸会、祝賀会 | | |
| | | 4 | 157 | 菅原文庫(菅原饒先生寄贈) 津軽文庫(津軽克郎先生寄贈)設置 | 佐藤 功 | |
| | 56 | 4 | 1 | 160 | | |
| | 57 | 4 | 1 | 147 JRCに加盟 | | |
| | 58 | 4 | 1 | 150 | | |
| | 59 | 4 | 1 | 155 | | |
| | 60 | 4 | 1 | 169 | | 白鳥 規雄 |
| | 61 | 4 | 1 | 178 図工科学習指導法県教委指定 | | |
| | 11 | | 校木「かつら二世」植樹 | | | |
| 62 | 2 | | 168 県教委指定「図工科」中間発表 | | | |
| | 4 | 1 | 168 県教委指定「図工科」公開研究会 | 君ヶ袋正昭 | | |
| | 9 | 27 | 給食車通路・駐車場簡易舗装 | | | |
| | 12 | 24 | 開校115周年記念事業として「川口ばやし」諸道具を備える | | | |
| 63 | 2 | | 167 校舎屋上全面修理 | | | |
| 平成 | 元 | 4 | 23 | 165 獅子頭(2)(君ヶ袋前校長)御輿(佐藤策郎先生)寄贈 | 佐藤 正美 | |
| | | 9 | 17 | 県PTA研究大会で安全対策の功績で表彰 | | |
| | 2 | 3 | 26 | 162 金田区長会より、しだれ桜寄贈 | | |
| | | 4 | 1 | ボランティア活動普及事業協力校指定(3カ年) | | |
| | | 4 | 8 | 火伏せ祭り参加 | | |
| | | 5 | 16 | 三浦慶子氏より水田を借用し、稲作実習田とする | | |
| | 3 | 4 | 1 | 147 県教委より生徒指導推進モデル地区に指定(2カ年) | | |
| | | 7 | 17 | 交通無事故1000日達成記念式典(築館警察署長表彰) | | |
| | 4 | 4 | 1 | 145 統計教育実践校(2カ年)に指定 | 津軽 徳聰 | |
| | | 11 | 1 | ソニー教育賞努力校受賞 | | |
| | | 21 | | 花壇コンクール優秀賞受賞 同鈴木長治賞受賞 | | |
| | 5 | 5 | 1 | 150 自動演奏機付きグランドピアノ購入 | | |
| | | 11 | 9 | 県警本部長 県交通安全協会より交通安全優良学校等表彰 谷田 文氏、三浦 孔氏より学校図書寄贈 | | |
| | 6 | 2 | 12 | 職員駐車場舗装工事完了 | | |
| | | 4 | 10 | 143 火伏せまつり参加 | 菅原 賢 | |
| | | 6 | 27 | プール全面塗装工事完了 | | |
| | | 11 | 16 | 宮城県保健体育優良学校表彰(県教委) | | |
| | 7 | 4 | 1 | 140 | | |
| | | 10 | 12 | 学校田最後の稲刈り(幼稚園舎建築用地のため) | | |
| | 8 | 2 | | 130 朝日新聞社より「宮城県健康推進学校」として記念の盾を授与される | | |
| | 4 | | 宮城県より「環境教育モデル校」指定(2年間) | | | |
| | 7 | | 校舎大改修 北側・東側教室増築工事始まる | | | |
| | 11 | 30 | 交通無事故記録1000日達成 | | | |
| 9 | 3 | 1 | 校舎完成を祝う会(引き渡し式)実施 | | | |



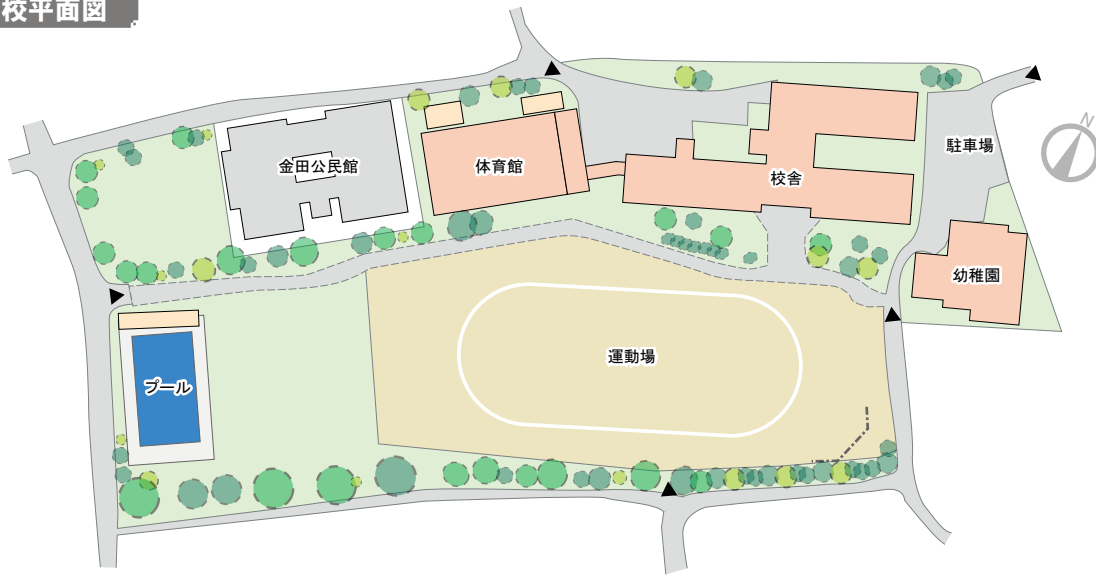


| 年 | 月 | 日 | 児童数 | 概要 | 歴代校長 |
|----|----|----|---------------------------------------------------------|------------------------------------------------|----------------------------------|
| 平成 | 9 | 4 | 121 | | 佐藤 鐵哉 |
| | | 12 | 5 | 教職5年経過研修会場として授業2コマ提供 | |
| | 10 | 4 | 109 | 火伏せまつり参加 | バックネット移動新設工事 築山、植木移設工事 |
| | | 11 | 9 | | |
| | 11 | 4 | 103 | | |
| | | 7 | 19 | バイキング給食実施 | |
| | | 9 | 7 | NHK番組「ようこそ先輩」収録 | |
| | | 10 | 19 | コンピュータ設置(12台) | |
| | 12 | 9 | 101 | | 鈴木 達朗 |
| | | 10 | 30 | 体育館器具庫改修完了 | |
| | | 10 | 30 | 国体リハーサル大会閉会式合唱隊参加(5、6年) | |
| | | 11 | 5 | 県PTA連合会より、優良PTAとして表彰 | |
| | | 11 | 21 | 心をはぐくむ教育活動推進校実践発表会 | |
| | 13 | 4 | 89 | | |
| | | 10 | 14 | 政岡まつり5、6年参加 | |
| | | 11 | 30 | 第56回国体開会式5、6年参加 | |
| | | 12 | 6 | 二宮尊徳像補修 | 栗原地方福祉教育実践交流会(福祉教育ボランティア学習推進協力校) |
| | 14 | 4 | 84 | | |
| | | 4 | 14 | 火伏せまつりに5、6年参加 政岡まつりに参加(29日) | 家喜 克彦 |
| | 15 | 4 | 82 | | |
| | 16 | 4 | 84 | 政岡まつり5、6年参加 | |
| | 17 | 2 | 22 | 安全教室(不審者対応・登下校の安全)の実施 | |
| | | 4 | 77 | | 青沼 陽一 |
| | | 4 | 19 | 町村合併により、栗原市立金田小学校となる 地域の教育力向上支援事業委託「一迫中学校区」 | |
| | 18 | 1 | 30 | | |
| | | 4 | 77 | 校庭整備工事開始(3月末、工事完了) (2学期制実施) | |
| | | 5 | 27 | 幼小合同運動会開催 | |
| | | 10 | 29 | 幼小合同学芸会開催 | |
| | | 11 | 18 | 金田っ子フェスティバル開催 | |
| | 19 | 4 | 80 | | |
| | 6 | 1 | プール改修工事完了(工期2月11日～) | | |
| | 10 | 15 | 一迫地域教育力向上支援事業公開研究会 | | |
| | 12 | 6 | 交通無事故5000日達成式典と警察音楽隊コンサート | | |
| 20 | 4 | 81 | | 佐藤 賢一 | |
| | 4 | | 栗原市学力向上支援事業指定『国語科』 | | |
| | 6 | 14 | 岩手・宮城内陸地震のため校舎被災 | | |
| | 7 | | 生活相互交信「レインボー」の開始 | | |
| | 11 | | 校舎修繕完了 | | |
| 21 | 4 | 69 | | | |
| | 4 | | 栗原市学力向上支援事業指定『算数科』 | | |
| | 4 | | 宮城県学力向上サポートプログラム支援事業指定『算数科』 | | |
| | 4 | 24 | プールにEM菌投入(2回目…10月) | | |
| | 12 | | 体育館屋根塗装 | 大竹 恵子 | |
| 22 | 4 | 63 | | | |
| | 4 | 11 | 県「愛鳥モデル推進校」指定(2年間) 火伏せまつり参加 | | |
| 23 | 3 | 63 | | | |
| | 3 | 11 | 東北地方太平洋沖地震のため校舎被災 | | |
| | 4 | 14 | 4月7日の大地震で延期されていた始業式を実施(入学式は翌15日) 校舎壁面の亀裂修繕等の災害復旧工事完了 | | |
| | 9 | | 交通安全優良校として宮城県警察本部長等より表彰 | 交通安全優良校として宮城県警察本部長等より表彰 | |
| | 11 | 2 | 交通安全優良校として宮城県警察本部長等より表彰 | | |
| 24 | 3 | 56 | | | |
| | 3 | | 体育館耐震補強工事、遊具の塗装、エアコン(4台)設置 | | |
| | 4 | 1 | | | |
| | 5 | 7 | 閉校記念事業第1回実行委員会開催 | | |
| | 5 | 11 | 科学巡回訪問(県教育研修センター)による科学実験体験と研修 | | |
| | 8 | 15 | 金田盆祭りに参加 閉校に向けてのPTA事業を実施 | | |
| | 10 | 15 | 栗原市除染実施計画に基づく、校庭及び校地内の除染作業実施 | | |
| | 11 | 19 | キリンチャレンジサッカー教室を開催 | | |
| 25 | 2 | 3 | | | |
| | 2 | 24 | 金田小として最後の学習参観日 PTA解散総会 | | |
| | 3 | 24 | 閉校式 閉校記念事業(記念碑の除幕、記念誌発行等)を実施 | | |
| | 3 | 31 | 栗原市立金田小学校閉校(一迫小・姫松小・長崎小と統合) | | |

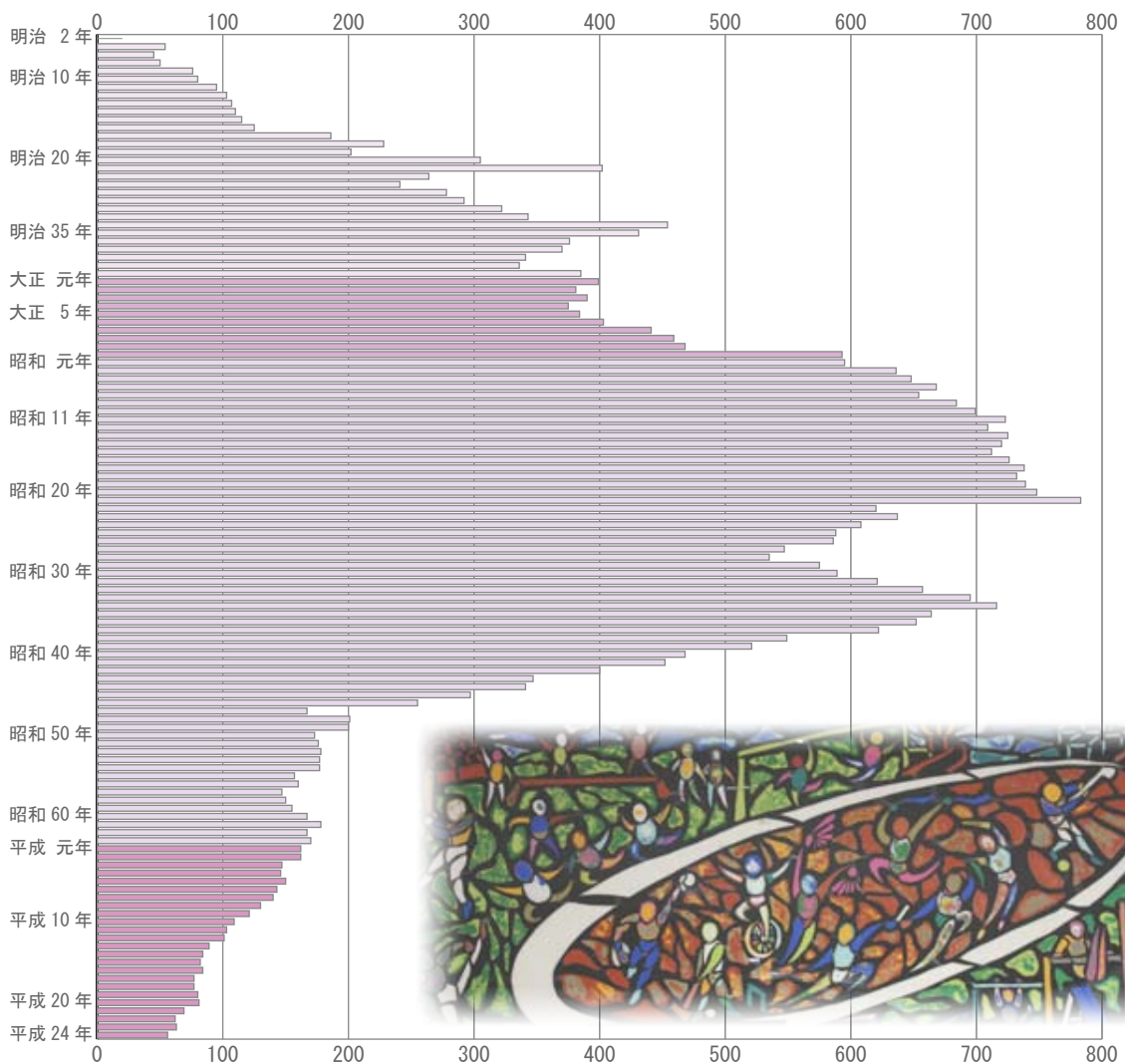


学校のようす

学校平面図



児童数の推移



私の遠い思い出 『授業』昭和18年度卒業生
白鳥 豊

昭和13年4月入学、男子児童56名1クラスで、受け持ちは上遠野正子先生〔現在百歳〕でした。国語の初めはカタカナで、サイタサイタクラガサイタからひらがなや、漢字は3年生からで、漢字の書き取りなど宿題も結構ありました。

修身の授業では、キクチコヘイハタマニアタッテシンデモ、クチカララッパヲハナシマセンデシタと云う忠義論から、高学年になると、兄弟仲良く親孝行つくせ、勤労・勉学・儉約・教育勅語・愛国・挙国一致など歴史上の人物の生い立ちなどを例題とした内容も多く興味を持ちながら勉強したものです。大分洗脳されました。

昭和16年小学校4年生の時、太平洋戦争が勃発、小学校も国民学校に変わり、戦争に勝つまでは儉約、我慢せよでした。

写真は昭和18年国民学校初等科6年生の卒業写真です。服装を見ると、当時の厳しい時代背景が伺われます。

冬の暖房は教室に木箱の火鉢一個でした。又温飯器「弁当温める」があり、温まってくると、梅干、味噌漬などが匂ってきたものです。

金田小学校は私の人生「人間形成」の原点だと自負しているだけに、少子高齢化とは云え、閉校は一抹の寂しさを感じております。



初等科6年男卒業写真

子と親と地域との絆を忘れずに！第35代校長
津軽 徳聰

遂に児童数の減少により、思い出多い「金田小学校」が閉校になるのですか？

明治6年「公立川口小学校」を洞林寺に開校し、明治18年頃現在地に木造二階建ての『金田小学校』が誕生したそうです。

140年もの長い歴史と伝統のある学校が閉校するのですから、金田地域住民にとっては感慨無量かとお察ししております。

しかし、諸般の事情から止むを得ないのでしょうか。学校教育の重要性を第一に為政者等は口舌していますが、益々人的・物的地域格差が生じてくるのではと心配している昨今です。

何はともあれ、現実として慣れ親しんできた教育の殿堂 - 金田小学校が川口から消えさり、一迫小学校に通学する子供たちを精一杯陰に陽に応援したいものです。

ただ心配なのは、残された学校の建物や校庭等の有効的維持管理・活用を公的機関ではどう考えているのでしょうか。

私は、直接管理者として2か年間勤務しましたが、子供・父母・地域の積極的な教育姿勢には、生涯忘れることができません。心から「感謝・感謝」しています。

「金田小学校の思い出」を地域挙げて、大切にすることを念じています。



昭和4年3月尋常科卒業



二宮尊徳像

あの頃思い起こせば〇〇〇

昭和26年度卒業生

佐藤 一臣

私は昭和21年、「国民学校1年生・・・」と歌って入学し、27年春に卒業した。昭和22年の教育改革によって新しく金田小学校となり、今度は「迫の源水清く・・・」を歌って105名が卒業した。

当時の小学校は中学校と同じ校舎であり、木造総二階建の堂々たる校舎であった。正面玄関は4本の石柱が突き出ている、二階にバルコニーがある洋式の建築物を思わせる威厳があった。そこから一步校舎に入ると、正面に幅が二間程もある階段があり、そこには大きな柱時計がゆったりと時を刻んでいた。二階には取り外しが出来る教室があり、朝礼や入学式、卒業式を実施する講堂となっていた。又、学芸会等では学習発表の舞台に変身する広い教室であった。

毎日登校するのが楽しみだった。特に校庭に遊び場を確保するため早く登校し、陣取り合戦をして遊んだ。正門の入り口には薪を背負った二宮尊徳の立像があり、担任の先生から機会あるごとにその

功績を聞いた。でも、高校生になるまで「偉い人」と言うだけでしかなく、飛び乗って遊べる遊具としての記憶が強い。

戦後間もない時期の小学生である。当然のことであるが、物資不足を忘れない。教科書は上級生が使用していたものを譲り受けて学習した。墨で塗り潰された教科書でも学習した。また、担任の先生が時々新品のゴム長靴やゴムの短靴を教室に持ってきた。「くじ引き」をして当選した人が手に入れた。買い取ったものかどうかは分からない。私は当選したことがない。羨ましく思ったものだ。

そんな物資不足の中、運動会には温かい思い出がある。当時は小中合同の運動会であった。学年は定かではないが、猫の習性をもじった団体競技である。新聞紙で袋を作り頭に被って両手を地面に着け、4本足を想定してうしろに走るものだった。迷走しゴールが出来ず、大きな笑いと歓声が沸いた。気の毒に思ったのだろう、中学生に誘導して貰いやつとのことゴールでき嬉しかった。徒競走は6着か7着であったが、この上級生や先輩たちの優しさや動きに感動し、運動会が好きになった。

時代の趨勢とは言え地域の学校がなくなることへの一抹の寂しさを感じる。金田地区の子供たちが新しい一迫小学校で再び伝統を築き、金田小学校の良き伝統が光輝くことを願って止まない。私も金田小学校では3人の子供がお世話になり、その子供たちも皆子育てに懸命になっている。有り難く感謝、感謝である。

金田小学校の思い出

昭和31年度卒業生

和良品 凱史

金田小学校が今年度限りで閉校になります。多くの人達が学び育っていった伝統ある学校。時代の流れとは言え、非常に残念であると共に寂しい限りです。

さて、あれから60年あまりが経ちましたが様々な思い出が浮かんできます。私らが入学した頃の学校は小、中学校が一つで、学芸会などの行事をする時は体育館ではなく、教室を仕切っていた扉を外して行っていたのを覚えています。また、学校へ行く途中、熊坂医院の前に小堀があり、そこで小魚取りに夢中になって結局遅刻し、先生に大目玉をくらったこともありました。それから学校内で流行歌（今の歌謡曲）を歌ってこれまた大目玉。当時は学校で教えられた歌以外は歌ってはいけなかったのです。思い出は尽きません。5、6年の頃だったか、たしか国語の時間でした。教科書の中に軍歌や明治維新の官軍の行進曲があり、その歌を先生にお前が歌えと言われ大声で歌ったところ、他の教室からみんなが出てきて見られたこともありました。次から次へと思い出が蘇ってきます。

懐かしいあの当時の先生方、元気であるだろうか。会いたいなああと、書いているうちにそういう気持ちが湧いてきます。

金田小学校がなくなっても私たちの心の中にはずっと残っています。

いつまでも忘れない。思い出の金田小学校。さようなら。そしてありがとう。



先生方



故郷の山河に響け大歓声

昭和35年度卒業生
佐藤 喜志男

川口ばやしがふるさと学習に取り入れられたのは、昭和50年代の半ばであった。金田地区毎戸の御寄付で揃えることが出来た諸道具。材料費だけで太鼓一式を製作してくださった大工の棟梁。退職の記念にと獅子頭とその装束を贈ってくださった当時の校長先生。

子供達もよくそれに応え、学校行事は言うに及ばず、火伏せ祭りや政岡祭りなどでも活躍。

そのひたむきな演技に大きな声援がおくられた。伝統は受け継がれ、昨年・今年と金田盆唄にも挑戦。校長先生はじめ先生方も揃って参加した地区の盆踊り大会。人々の想いを感じ取ったのであろう、子供達の熱演は、バチを握るその手に血豆が出来る程であったのだ。

全ては歴代の先生方、そして母校に寄せる地域の人々の熱い思いが導いてくれたのだ。

閉校になれども、あの かわいくも堂々たる我が金田小学校の川口ばやし・・・人々の心の山河に響けと願うばかりである。

そして、いつの日か大人になった同級会その席で、懐かしい校歌を歌い、誰かともなく発せられた川口ばやしや、御前ばやしに、大歓声を上げるその時、その時こそ、本当の意味で心の拠りどころとなるのであろう。

「川口ばやし ヨォーイ！」 「オー！」
フレー フレー 金小！・・・(完)



川口ばやし

楽しかった金田小

元職員

佐藤 司 (旧姓 大場)

金田小に昭和23年10月から39年3月まで(2年間他校)子どもと共に楽しい生活ができました。着任一週間前より学校からの依頼で、机、腰掛等の小破修理を続けました。その間、多くの子どもたちとの会話に心がはずみました。

いよいよ6年生の担任で、一週間も過ぎないうちに、女子数名が「先生だものオルガンひいて音楽も教えてくれないよ・・・」。以来夕暮れの教室でオルガン練習を続けました。そのとき「先生あまり無理しないでね・・・これでいいから」。子ども達の学習面はもちろん友人関係いろいろな面でお互いの力を生かし合い学校生活がより楽しくなりました。



児童集合写真

また、1年生担任が数年もあり、疲れの中にやり甲斐がありました。学習の場だけでなく遊びの中にも楽しい場がありました。1年男子が「昨日まで大場先生だったのに、なぜ今日から佐藤先生になったのですか・・・？」周りの子ども達も本当に「ドウシテダロウ・・・？」。その時『1年生・私の学級・・・』「あのね、佐藤の家に行ったからね・・・」。

心の中で泣いたり笑ったりの楽しい毎日でした。そして今も、教え子たちとの声かけ合う楽しさが。いっそうありがたく力強いものが・・・！



金田小学校は私の宝物

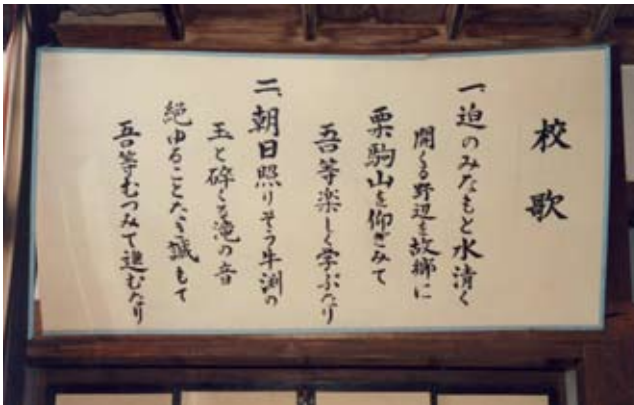
昭和46年度卒業生
佐藤 秀子



矢本遠足

私の金田小学校との出会いは、今から40数年前の入学式。でも昨日のことの様にその日の天候や服装、初めてどきどきしながら山口タクシーに乗って学校へ向かったことまで全て覚えています。実は私、他の人よりもどきどきする訳があったのです。私にとっては、金田小学校は「本校」でした。入学式だけ、皆と一緒に次の日から2年生まで分校へ通学だったからです。3年生からは金田小学校への通学でした。不安と期待で胸一杯でしたが、幸いなことに誰に意地悪されることなく友達と溶け込み楽しい小学校生活が過ごせました。その時の同級生の優しさに感謝の気持ちで一杯です。今でもその時の友達と付き合いをさせてもらっています。私にとって、金田小学校は、さまざまな出会いを作ってくれた宝物です。

この宝物がなくなると思うと悲しく淋しくなりますが、金田小学校の皆さん、新しい学校に行って沢山のひとと出会い感動し世界を広げ友達をいっぱい作って下さいね！！



校歌

私の『金田っ子』時代

昭和49年度卒業生
佐藤 徳昭

思い起こせば、私の金田小学校時代は40年も前のこととなります。かなり記憶も髪も薄れてきましたが、懐かしい校歌を口ずさむとほぼ歌えることに気づき、不思議と当時のことがよみがえります。旧校舎の卒業生にとっては木造二階建ての立派な校舎を思い出すのではないのでしょうか。今でも当時のなごりのある桜や桂の木、そして小中学校の校門など懐かしく思います。

私が低学年の頃はまだプールがなく、迫川の梁場橋上流の「ネコザ」とよばれるところが指定の水泳場所でした。川幅は40メートル程ですが、向こう岸に行くにはかなり深い急流を泳がなければならず、私は行くことができませんでした。向こう岸の岩場に腰掛ける中学生がとてもうらやましく、いつかは泳いで行こうと思っていましたが、プールの完成とともに叶わない夢となったことも懐かしい思い出です。

豊かな自然の中で戯れた古き良き時代の数限りない思い出がある金田小学校も閉校になります。これまで育んできた歴史と伝統と誇りを「金田っ子」によって語り継がれていくことを願っています。

これまで金田小学校を育ていただきました先生方、そして地域の皆様ありがとうございました。



旧木造校舎





親父のような先生

昭和51年度卒業生
佐藤 雅博

卒業してから30数年も経つと、当時の光景がポツポツとしか思い出されないような年齢となったと感じているところです。そのような中で思い出されるのは、同級生や先生のことですが、8年位金田小におり、5・6年生で担任だった先生は、当時自転車通勤、丸いメガネで服装は毎日お決まりの茶系のブレザースタイルで親父と同じ位の先生でした。そんな先生の授業は、金田の郷土芸能・生活の習慣の話が多く今でも思い出されます。いつもは優しい穏やかな先生でしたが、ちょっと外れたいたずらをした時には、鬼のような形相で平手が飛んできましたが、その後は「お前は、めんこいな～」と頭をなでてくれたのが気持ちを癒してくれました。

当時、どこの親も仕事が忙しく触れ合う暇もあまりなかったと思いますが、もう一人の親父の様な存在であったと感じております。数年前に年老いた先生に同級生数人で会う機会がありましたが全員の名前をおぼえてくれておりました。

私の子どもも金田小を3人卒業しましたが、お付き合いした先生方は、皆すばらしい方ばかりで伝統ある金田小に感謝しております。



先生方（昭和61年）

金田小学校は永遠不滅

昭和52年度卒業生
熊坂 祝久

私は昭和47年に入学したが、当時の校舎は木造二階建てで、現在の改善センターの場所に立っていた。確か来賓用の正面玄関には、ガラスケースに入った白鳥のはく製があったと記憶している。校舎の裏には大きな池もあったし、隣には木造の金田中学校もあった。放課後には、中学生が部活のトレーニングで小中学校の校舎の周りを走っていた。

その6年後、現在の鉄筋コンクリートの小学校が出来上がり、我々の学年が現校舎の初めての卒業生であった。6年生だった昭和52年は、森田公一とトップギャランが歌う「青春時代」がヒットし、王貞治選手が世界最高記録の通算756号ホームランを放ち、国民栄誉賞第1号を受賞した年でもあった。卒業してから約35年経った今、来年で閉校となる校舎、除染されている校庭を見ると寂しい気持ちだ。百数十年続いてきた由緒あるすばらしい金田小学校は閉校となるが、これも少子化の時代には致し方ない事だとも思う。校庭に元気に響く子供たちの声を聞かたび、金田小学校だけは永遠に不滅であって欲しかった。



教室



卒業写真





思い出の我が母校

昭和54年度卒業生
遠藤 俊哉

記念誌への執筆を依頼され改めて小学校時代の思い出を振り返ることができました。とても貴重な時間をいただいたことに感謝申し上げます。

さて、小学校を卒業し32年。現在の校舎ができたのがちょうど5年生の時でした。また、6年生の時には体育館が新築され、ほぼ現在の姿になりました。緑豊かな大地に真っ白な近代的な校舎。夢と誇りを抱くことができたことを今でも覚えています。

学校生活もインパクトのあることばかりでした。放課後、先生と大崩の山へ行き木の実をとって食べたり、当時珍しかったラグビーを教えてもらい雪の中でやったりしました。また、洗剤の環境に及ぼす影響について、成分の化学式を調べあげ発表するなど現在の教育にもつながる最先端の学びをしていただきました。

地域の中心・心のふるさとでもある金田小学校は、歴史に幕を下ろし形は無くなってしまいます。しかし、ここから巣立っていった人たちにとっては、今後も輝き続けていくことでしょう。ありがとう金田小学校…



航空写真
(昭和53年)

遊び

昭和51年度卒業生
千葉 和彦



小学生といえば、やっぱり「遊び」が思い出です。3年生からは400mリレーをやっていました。業間休みや昼休み、帰り…と、やっついて、6年生までずっと走っていたのを覚えています。それも先輩・後輩の学年とクラス対抗もやり、そのおかげで中学、高校と陸上部で走っていたのかもしれません。

また、メンコやビー玉を教科書と一緒に入れて学校に持って行き、何度も抜き打ちの持ち物検査をされました。極めつけは没収された遊び道具を父兄に手紙付きで返されたことも…。

その手紙は、不思議なことに築場橋を渡りきる頃には、風で飛ばされたこともしばしばありました。冬には、こま回しやベイごまもやり、上手く回したくて、家で父に教えてもらったこともありました。また、軍人将棋という階級で勝敗がつくゲームがあり、なかなか面白かったことを覚えています。我々の年代は、超アナログ時代だったので、遊び道具は手づくりが多く、田んぼで野球をしたり、凧揚げや弓を作って誰の矢が一番飛ぶかを競ったりして遊んだことを覚えています。

私は、今の校舎ではなく、木造二階建ての校舎だったので、古い校舎ならではの遊びがあり、二階の視聴覚室の天井裏を密かな隠れ家として遊んでいたことを覚えています。

最後に、金田小学校の校歌が聴けなくなると思うと、淋しい気がいたします





いつまでも金田っ子

昭和56年度卒業生
長谷川千佳子

私たちの学年は、現在の金田小学校の校舎に入ったのが、二年生の終わりの頃でした。一、二年生は一階の教室、三年生から二階の教室でしたので、早く三年生になりたいと思っていました。

休み時間や放課後ばかりでなく、一度帰宅してからも、そして休日にも、いつも同級生が集まり校庭や遊具で遊びました。道路鬼、十字路鬼、かくれんぼ、ゴム跳び…いつも外で遊んでいたような気がします。かくれんぼに至っては、旧校門隣にある大きな杉の木に数人で登り、木の上にかくれたこともありました。

その同級生、地元に残っている数名とは、今でもたびたび連絡を取り合い集まっては、近況を話すばかりでなく、小学校時代のなつかしい話で盛り上がります。最近では、金田小学校閉校の話題になり、いろんな思い出話が次から次へと出てきました。先生方のこと校舎や体育館のこと、校歌のことまで、話が尽きることはありません。

金田小学校を卒業し、そして金田小学校が閉校しても、いつまでも金田っ子です!!
ありがとう、金田小学校!!



川口ばやし

思い出の金田小学校

元職員（昭和54年～55年度）

萩田 隆児

私にとって教員生活のスタートが金田小学校でした。新任教員として、期待と不安の中で4年生を担当しました。男子25名、女子8名の非常に元気の良い学級でした。私の教員生活で初めての「教え子」たちですから、30年以上たった今でも当時のことを昨日のことに思い出されます。みんなでよく牛淵公園に行ったものでした。私自身、がむしゃらに過ごした1年でした。

そして、二年目は6年生の担任でした。教員二年目で卒業学年を担当させていただいたことは、私にとって非常に名誉なことであり、卒業式のあの感動は今でも忘れません。謝恩会では、子どもたちが演奏して私が「贈る言葉」を歌ったことや、途中で歌詞を忘れてしまったことなど鮮明に覚えています。

金田小学校は2年間だけの勤務でしたが、私の教員生活にとって貴重な経験ができた2年間でした。驚きと感動の毎日でした。



地域の方々にも大変お世話になりました。地元の青年団の方々に混じってバレーボールを一生懸命やったことも良き思い出です。

地域に学校がなくなることは非常にさびしいことです。しかし、子どもたちの将来のことを考えると仕方のないことかもしれません。

金田小学校の輝かしい歴史と伝統は、閉校になってもいつまでも語り継がれていくことを願って、閉校にあたっての私の言葉とさせていただきます。



校木「かつら三世」誕生の由来

第15代PTA会長

白鳥 文雄

広報「桂」の役員さんから昭和61年に校舎と体育館の渡り廊下の前に植樹された「かつら二世」の由来を寄稿してくださいと依頼され、当時教頭だった松田節郎先生と一緒に小学校を訪ね、大竹校長先生と佐々木教頭先生にお願いして、その当時の記録・資料を探していただいたところ、一枚の写真が見つかりました。写っているのは、白鳥則雄校長先生他当時の先生方が植樹したかつらを囲んでいるもので、先生方で植樹したものだ様です。

なぜ「かつら二世」の植樹をしたのか？4人で様々なことを話し合っている中で「子供たちの身近な所にあったほうが良いのでは」とのことで植えられたのだろうということになりました。一世の「かつら」は現在の農村環境改善センター入り口に大木になってありますが、今の校舎は昭和53年に旧金田中学校跡地の現在の場所に建築移転されたので「かつら一世」は、校舎や子供たちから遠ざかってしまったのです。

植樹された当時は、県の図工科学習指導法研究公開を翌年に控え、先生方はもちろん子供たちも図工科の取り組みに熱中していた頃で、建築9年目の新校舎で行われる対外一大イベントに向けて皆が熱く燃えていたものです。今想えば誠に時宜を得た植樹だったと敬服しています。

参考までに「かつら一世」は明治21年に植樹されていますが、前年の明治20年に現在改善センターの所にあった校舎が川口高等尋常小学校となったのを機に校木として制定・植樹されたものです。「かつら」を校木にした由来は、『未来に生きる子供たちが、心温かく困難にうちひしがれることなく健やかに成長していくこと』を願い制定したとのこと。

これからも永々と金田っ子が、校木「かつら」のように成長してくれることを祈って止みません、合掌。



先生方・かつら二世植樹（昭和61年）

金田小での思い出

平成元年度卒業生

佐藤 聡



金田小学校が今年度をもって閉校してしまうという事で、今春からは子供達の元気な声が聞けなくなってしまうのかと思うと、とても残念です。

自分が小学生だったのは、今から20年以上前で当時の事をあまり覚えてなくて、どんな日々を過ごしていたか、久し振りにアルバムを手に取りました。

運動会に学芸会、松島で野外活動した事や福島への修学旅行など、沢山の学校行事があったんだなあと振り返りました。

また、郷土芸能の川口ばやし、御前ばやしでは横笛を担当し、うまく吹ける様になりたくて一生懸命に練習した事も思い出しました。

閉校となってしまいますが、金田小学校で過ごした日々は、いつまでも心の中に残していきたいと思います。沢山の思い出をありがとう。



会津の英霊達

平成元年度卒業生
高梨 真

修学旅行（鶴ヶ城）

小学校の思い出で今でも忘れられない事がある。6年生の修学旅行で行った会津若松である。それまで歴史に興味など全く無かった自分が、あの日を境に歴史のおもしろさ、悲しさ、切なさに惹かれていく事になるとは思いもしなかった。会津に行き、そこでの歴史を知るにつれ、何とも言えない感情が芽生えた。時代の大きなうねりの中で、変えようとする側、守ろうとする側の想いがぶつかり、大きな戦争になってしまった事にはやりきれなさも感じた。その中でも当時の自分の年齢とさほど変わらない人達「白虎隊」の存在は衝撃以外の何物でもなかった。生死をかけて戦い、忠義のために死んでいった人達と同じ事が自分には出来るのか、というよりそんな覚悟が出来るのかと当時子供ながらに考えたものだった。形は違っても家族や友人達を守れる様な大人になりたいと思った。

今、私は家庭を持ち守るべき者がある中で、いつもこの日の事を振り返り、日常を送っている。最後に、こんな体験をさせてくれた会津の先人たち、そして金田小学校に対し

感謝を言いたい。

「ありがとう会津の英霊達、ありがとう金田小学校」

思い出の川口ばやし

平成元年度卒業生
佐々木きみ子

数多くある思い出の中で、一番思い出に残っていることは、伝統芸能である「川口ばやし」を演奏したことです。

4年生になった時、初めて横笛を手にし、音が出せた時のことや、6年生になって、憧れの大太鼓を演奏できた時の喜びは、今でも忘れられません。

みんなと合わせる難しさ・楽しさ、発表する時の緊張感・達成感…様々な経験を通し、心を豊かにしてくれた「川口ばやし」は、私にとって、とても大きな財産となりました。

低学年の手踊りも入り、全校児童一丸となって取り組んだ川口ばやしは、運動会、学芸会、政岡まつりなど、色んなところでの発表の場がありました。そこで沢山のお客さんから拍手をいただいたことも大切な宝物となっています。

卒業して20数年が経ちますが、今でも後輩に受け継がれてきたことは大変嬉しく思います。そんな歴史に幕を閉じることは残念でなりませんが、伝統芸能で経験した多くの思い出は、これからも私の心に輝き続けていくことでしょう。また、金田小学校卒業生として、これからも一生懸命歩んで行きたいと思います。力強く、軽快な「お囃し」のように。



川口ばやし（運動会）



川口ばやし



ありがとう金田小学校

平成2年度卒業生

佐藤 千暁

昭和60年4月、母親に手を引かれピカピカの大きなランドセルを背負い、金田小学校の門をくぐったことを今でも鮮明に覚えています。入学した仲間は37名と多く、教室に机や椅子が所狭しと並んでいました。

5月に開催された初めての運動会。5、6年生が威勢よく郷土芸能である「川口ばやし」や「御前ばやし」を行う姿に、幼いながらも憧れたものでした。父親も金田小学校の卒業生ということもあり、郷土芸能で横笛を担当したことや様々な行事について、同じ思いを共有することができた事に喜びを感じました。

5、6年生のときは、2年間続けて同じ担任の先生でした。先生のお人柄から最高学年としての自覚や意識、思いやりの気持ちを学ばせていただきました。体育館ステージ右手に飾られている「児童会の歌」の歌詞は、私たちが卒業記念として制作したものです。先生が字の下書きをし、私たち児童が彫刻刀で一枚一枚ていねいに仕上げたものです。見るたびに、あの頃の思い出が蘇ってきます。

現在、金田小学校には、小学5年になる我が息子が通学しています。平成25年3月には閉校となりますが、私たち親子三代が通学した金田小学校を誇りに思います。閉校してしまうのは非常に残念に思いますが、私たちの心の中には、いつまでも金田小学校は生き続けることでしょう。



川口ばやし



卒業制作

野球を学んだあの日

平成14年度卒業生

中鉢 勝仁

私が金田小学校を卒業してから早10年が経ちました。金田小学校が閉校となる事を聞き、寂しい気持ちでいっぱいです。私は金田小学校で学んだ事がたくさんあり、特に野球で学んだ事が多いです。今も野球で学んだ事が生かされ、社会人として一生懸命に働いています。

私が野球を始めたのは、小学校1年生の頃、まだ野球の事もわからずボールを怖がっていました。皆と一緒に毎日必死に練習し、小学校3年生にはレギュラーとして試合に出場できるようになりました。6年間、数々の大会で優勝もし、自分でもこ



金田小スポーツ少年団（平成8年）

まで野球がすきになるとは思いませんでした。野球が上達できたのは、先生または親の会の方々、野球を教えていただいた監督のおかげだと思っています。ありがとうございました。

社会人となった今も野球を続けています。高校の時は、甲子園にも出場することができました。これからは、金田小野球部（現金田ジュニアサンダース）で学んだ事を忘れず、これからの人生を歩んでいきたいと思えます。

金田小学校、本当にありがとう。そしてさようなら。我が、金田小永遠に不滅なり。



学び舎の閉校に寄せて平成14年度卒業生
伊藤 佳奈

私が金田小学校を卒業してから10年が経ちました。校庭や通学路で自然の移り変わりを日々感じながらのびのびと過ごした6年間でした。母校が閉校になると聞き、時が経つのは本当に早いと気付かされます。

学校生活の思い出は尽きません。書道が得意だった私にとっては書きぞめが一大イベントで、毎年冬になると県の展覧会での入賞を目指して無我夢中で取り組んだものでした。目標を持ち、努力した経験は当時の私の自信につながりました。一方でスポーツは得意ではなかったものの、陸上大会に水泳大会にと参加し、様々な経験をさせてもらったのは、少人数だったからこそでした。また、地域とかかわる場面が数多くあったことも良い思い出です。地域のお祭りや運動会では伝統で引き継いだ川口ばやしを披露し、地域の方々を招いた遊ぼう集会では楽しんでもらいたい一心で試行錯誤を重ねたことが思い起こされます。

担任の先生をはじめ多くの方々のあたたかいご指導・ご協力のもとで成長できたことに感謝しています。これからの子どもたちも、地域の皆様に支えられながら豊かに学んでいってほしいと願っています。



交通安全教室



金田っ子フェスティバル

野球に夢中だったあの頃平成18年度卒業生
山口 秀

金田小学校にある少年野球チーム「金田ジュニアサンダース」で私は3年生から6年生まで野球をやりました。今振り返ってみてもあの頃は本当に楽しく、充実していた日々だったと思います。また、金田小を目にするだけでも当時の思い出が蘇り、懐しく感じます。

私にとっての金田小は勉強や学校行事はもちろんのこと、野球が何よりも欠かせない存在でありました。放課後に行う練習や土日の練習、また試合等は本当にやりがいを感じました。特に各地の大会にも多数出場し、中には好成績を収めることが出来たこともありました。そして金田小へ賞状や優勝カップを持って帰ってこれたときの喜びはとても大きなものでした。少年野球の活動のみに留まらず、学校の休み時間にチームを決めて学年や上手・下手など関係なくみんなで楽しむといった所にまで広がりを見せました。また、土日の練習や試合が休みの日に遊びに外出する際にも常にグローブとボールは持ち歩いていたものでした。

さまざまな忘れることのない思い出が詰まった金田小が閉校となるのはとても寂しいことですが、思い出はこれからも卒業生の記憶の中に残る事でしょう。そして卒業生として心の底からお礼を述べたいと思います。



金田ジュニアサンダース





懐かしい思い出

平成20年度卒業生

佐藤 有紀

私の金田小学校の思い出は大きく分けて二つあります。一つは休み時間の出来事です。その頃、佐藤りさちゃんと佐藤みさちゃんが自由帳にまんがを描いていて、自分でもまねして描いた覚えがあります。しかし、私の絵やストーリー構成は、拙いもので、りさちゃんやみさちゃんのかわいい絵や話を参考にしていました。その他、休み時間中は教室で過ごすことが多かった私ですが、たまに、皆で外に出て遊んだこともあります。遊んでいた時に細川亜佳音ちゃんが遊具に足を挟めてしまったこともありました。でも、皆仲良く、ケンカなんてせずに遊ぶのはとても楽しかったです。

もう一つは川口ばやしです。最初私は鐘がやりたかったのですが、佐藤志保ちゃんが鐘をやることになって、志保ちゃんがやるならいいかと納得していました。結局笛になり、音を出すのが難しかったけど、苦勞して音を出せるようになった時は、とても嬉しかったです。金田小学校がなくなっても、ぜひ川口ばやしは続けていってほしいです。



しめ縄



おはやし

ありがとう金田小学校

平成23年度卒業生

尾崎 惟

「入学式だ！」金田小学校1年生になる日、私は勢よく空っぽのランドセルに飛びつきました。6年後には金田小学校で過ごした素敵な思い出でいっぱいになり卒業しました。

金田小学校は児童数70名程で学校全体が仲良しでした。そして、全ての先生が私たちをいつも温かく見守ってくれました。かけがえのないクラスの仲間と出会い、3歳上の姉を頼りに学校生活を送り、「大きな家族みたいな学校」だといつも思っていました。

思い出…私が3年生の時、運動会の縦割りリレーで偶然にも6年生の姉と勝負ができるチャンスがやってきました。私のチームが大きくリードし、そのままバトンをつなぎ勝てたのを覚えています。金田小学校でなければ経験できなかったでしょう。

この「縦割り」は、金田小学校の全学年の児童が六つの班に分かれて作るチームです。大きな行事だけでなく花壇の球根植えなど日常の学校生活でも「縦割り」で活動することが多くありました。この活動は、自然に学年を超えて交流が深められ、下級生のお世話をしたり、上級生をお手本に活動したり、お互いに成長できる素晴らしい機会でした。

最後に金田小学校へ、ありがとう。



お花見給食



縄跳び大会





金田小の伝統は輝き続ける

元職員（平成元年～6年度）

高橋 隆志



高橋隆志先生

私は、平成元年度から平成6年度までの6年間、金田小学校にお世話になりました。地域の皆様や保護者の皆様に、本当にお世話になってばかりで、何かお役に立った事があつたらうかと反省しています。

最初の2年間受け持った子どもたちは、とても明るい子どもたちで、乗りのいい子どもたちでした。「西部体育大会で、リレーで優勝したら一週間宿題なしにするぞ」と言ったら、一生懸命練習をして、本当に優勝してしまつて。と言うか、実力もある子どもたちだったんだと思います。教え甲斐がありました。

三年目から教務主任として無我夢中で仕事をしたのを覚えています。天気の良い日は、日中、学校周辺の草刈りをして、夕方から事務処理ということもありました。

金田小学校の教務主任は、相撲部屋の親方も兼任していました。前任の亀井親方から引き継いで、力強い小学生力士たちと稽古をし、腰ぬけになることもありました。多くの相撲大会で好成績を残すことができました。

たくさんの思い出のある金田小学校が閉校になるのはとても寂しいことですが、輝かしい伝統は絶えることはありません。私の心にも、いつまでも輝き続けます。



体育大会

コラム

川口ばやしと金田小学校

金田小学校では、ふるさと教育の一環として、昭和57年頃から保存会の方々の指導を受け道具を借りて練習を始めました。

昭和63年には、東町の佐藤正彦さんから、手作りの太鼓を作成していただき、また地域の方々やPTAのご尽力により、笛や法被などの現在の道具も揃えていただきました。

学芸会や運動会などの学校行事や「金田地区市民体育大会」、「火伏せまつり」、「政岡まつり」などに披露し喜ばれてきました。

子供たちは、毎年1月から2月に保存会の方々から指導を受け、先輩から後輩へ引き継ぎ、伝統を培ってきました。



桂

想いを題字に込めて

洞林寺（金田小発祥の地）住職三宅良憲先生より

金田っ子
見守り続けた
大きな桂

題字「桂」とサブタイトルを書いて頂きました。「桂」の上部が表紙からはみ出しているのは、永い間金田小学校を見守り続けてきた桂の木は、その存在は大きく高く、決して紙面に収まりきれぬものではないということを表現しています。



たのしかった玉入れ

たのしかったことは、うんどうかいです。うんどうかいで一ばんたのしかったきょうぎは、玉入れです。玉をかごに入れたかずは、3こぐらいでした。おばあちゃんは、11こぐらいでした。すごかったです。



おたのしみかい

7月に1年生で、おたのしみかいをしました。ともだちとなぞなぞをしました。プールのもんだいをだしました。

かていかしつで、だんごをまるめてゆでたよ。フルーツ白玉は、おいしくできたよ。おいしかったよ。



おもいでるのプール

さいしょは、なにもできなかつたけど、すすきねせん生におそわりながら、うまくできるようになりました。1ばんむずかしかったのは、だるまうきです。うくのがむずかしかったです。ういているとき、きもちよかったです。



アークぼくじょう

たてがもりアークぼくじょうで、どうぶつをさわったり、見たりしました。ひめまつ小と一はさま小のおともだちといっしょでした。ヤギとひつじに、生えているはっぱをたべさせました。ニワトリのたまごを2ことりました。



たねまき

6月4日、たねまきをしました。花のたねのなまえは、おしろい花と、百日そうと、ふうせんかずらと、おじぎそうと、コスモスです。ふうせんかずらは、なかなかめが出なかつたけど、やとめが出てよかったです。



たのしかったたいいく

わたしは、かえるとりつで、さいしょのうちは、1びょうで、つぶれていました。でも、10びょうできるようになってうれしかったです。うでや手に力を入れて、マットをよく見てやったら、できました。



マラソンたいかい

マラソンたいかいで、ぎんメダルをとったよ。うれしかったんだけど、金メダルをとりたかつたです。足がいたくなるぐらいはしたよ。しょうじょうももらえてうれしかったです。たのしかったです。



地くみん体育大会

地くみん体育大会でおこなわれたたてわりリレー、れんしゅうでは、いつも2はんが1位だったのに本ばんでは、3位でした。1年生のともだちをこすことができなくて、とってもくやしかったです。

鬼い出のプール

今年のプールでは、もぐったり、バタ足でビートばんをもっておよいだりしました。プールおさめでは、ビートばんをつかって、25mをおよぎりました。来年はビートばんをつかわずクロールでおよぎきたいです。



2年生

2年遠足

楽しかった音楽さい

わたしは、文かかいかんのステージに立って、ライトがついたとき、とってもきんちょうしました。でもきれいな声でうたっていると、おちついてきて、とっても気もちがよかったです。もうどうしたいです。

うんどう会

ぼくは、ときょうそうで1位になれてよかったです。ゴールの目の前で、むかい風でおされました。けれども風にまけないで1位になれたのがとってもうれしかったです。

ピンクのーりん車

わたしは、ピンクのーりん車が大すき。今は、てつぼうからターザンロープのところまで行けた。ーりん車がのれるまでれんしゅうした。空中のりは、すごくむずかしいがのれてよかった。

すきなあそび

わたしが、すきなあそびは、かくれんぼです。それは、いろんなところにかくられるからです。妹とするとき、いつもわたしがおにになります。見つけるときのどきどきかんは、さいこうです。

地くみん体育大会

ぼくは地くみん体育大会の日は、すごくきんちょうして「いくよ。」と言われると、あせがいっぱいでてきた。「ときょうそう」や「よさこいソーラン」と大あせをかいてがんばった。たのしいうんどうかいだった。

楽しいなわとび

ぼくは、今、れんしゅうしているのは、二じゅうあやとびです。それはとてもむずかしくて、1年生の時とてもできませんでした。でも2年生になってやったら、23回もできました。とても、うれしかったです。



栗原市小中学校音楽祭

レゴブロック

ぼくは、レゴブロックがだいすきです。今はトラックを作っています。あとスポーツカーを作っています。その2台がかんせいしたらともだちとあそびたいです。これから何を作ろうかな。だれとあそぼうかな。

がんばったべんきょう

わたしが、1ばんがんばったべんきょうは、さんすうです。長さをしらべるのががんばりました。そして今かけ算もがんばっています。むずかしいので、しっかりおぼえてかけざん九九が言えるようにしたいです。

ごっこあそび

ともだちと「カクレんジャーごっこ」をしたのが一番楽しかったです。ぼくは、カクレッドで、ともだちはようかいです。たたかいごっこをしていると「あっ」という間に休み時間がおわってしまいます。



市民体育大会

がんばった学げい会

「へそをとられたかみなりどん」のげきをしました。ぼくは、たぬきのやくでした。大きなしっぽとでべそをつけて元気よくノリノリでおどりました。せりふも上手に言えました。大せいこうでした。

ぼくたちのえん足

今年のえん足は、一迫地くの四つの小学校で古川方面へ行きました。古代の里でべんとうを食べて、晴れたのでみんなでローラーすべりだいであそびました。ターザンロープはあそべなくてくやしかったです。





思い出の金田小学校

わたしたちの金田小学校が今年、へい校します。そしたら、一迫小学校に行きます。一迫小学校は、人数がふえるので勉強についていけるかはわからないし、友だちもできるのか不安です。だから、わたしは自信を持ってがんばりたいです。

それに、勉強がむずかしくなるので、みんなに負けないように、勉強をたくさんしたいです。今年で金田小学校がなくなるのはさびしいけど、心の中では金田小学校は消えません。

3年生



クリスマスコンサート

金田小学校、さようなら

ぼくが通っている金田小学校は、もうすぐへい校します。ぼくは、金田小学校にはいろいろな3年間の思い出があります。3年生の友だちは8人で、とてもなかよしです。ぼくには、親友がいます。

ぼくは、親友と遊びます。たまには、けんかをするけど、すぐなかなおりします。ぼくと親友は、サッカーが好きで、いつもサッカーをします。みんなと遊ぶときは、遊具で遊びます。楽しかった金田小学校、さようなら。



楽しかった金田っ子フェスティバル

ぼくが金田小学校で楽しかったことは、金田っ子フェスティバルです。ぼくは、はじめての仕事で記ろく係をしました。ちょっと大変でした。後半は、全部の店を回りました。

さいしょに行ったお店は、6ぱんのお店です。次に行ったお店は、1ぱんのお店です。ぼくは、チャレンジというのをやりました。とんじるもすぐおいしかったです。ぼくは、3ぱいも食べました。さようなら、金田小学校。

楽しかった金田っ子フェスティバル

わたしは、金田っ子フェスティバルが楽しかったです。前半で遊んだときは、いろんな所に行つて、いっぱい遊びました。とても楽しかったのは、スターフィッシングです。

かんをつつて、かんのうらに問題があつて、丸かばつで答えました。後半では、ルールせつめいと客よびをしました。お客さんがいっぱい来て、わたしはうれしかったです。お昼はとんじるを食べました。おにぎりは、2こ食べました。とてもおいしかったです。



金田っ子フェスティバル

ぜったいなるぞ、サッカー日本代表

ぼくのしょうらいのゆめは、サッカー日本代表のチームに入ることです。

なぜかという、そのチームには本田せん手、か川せん手、長友せん手、川島せん手、おかざきせん手がいるからです。その中で一番あこがれのせん手は、川島せん手です。中国との試合で、相手がP Kでけつたボールを止めたからです。だから、ぼくは川島せん手のようになって、日本代表のチームのしゅご神になりたいです。



キリンサッカー教室





おもしろかった金田っ子フェスティバル

ぼくは、金田っ子フェスティバルでお店が始まったときは、うれしかったです。ぼくは、前半にお店を回りました。さいしょは、コロコロカーリングという所に行きました。その遊びは、わ投げににていて、とても楽しかったです。

さい後は、えんぴつたてやどんぐりゴマやブンブンゴマを作りました。ブンブンゴマを作っているとちゅうに、前半の終わりのほうそうが鳴りました。それであわてたけど、作り終わったのでうれしかったです。

3年生

ブランコ、大すき

校庭には、ぼくの大すきなところがたくさんあります。ブランコ、ジャングルジム、ぐるぐるすべり台、ターザンロープ、てつぼう。

一ばんすきなのは、ブランコです。足をびいんとのぼしてタイミングよくひざをぐうんとまげると、ふわあと空へのぼっていきます。プールまでとんでいきそうになります。すうとおりてくるときが一ばんきもちがいいです。金田小学校の校庭にあるゆうぐが、ぼくは大すきです。



学芸会

さい後の学芸会

一番の思い出は、学芸会です。3・4年生で「小さな小さなまほうつかいたちの大きな大きなぼうけんの話」というのをやりました。

わたしは、まほうつかいの役でした。まほうつかいは、セリフがいっぱいで、表現もむずかしかったです。泣くえんぎがむずかしくて、何度もやり直しをしてうまくできるようになりました。本番も大せいこうでした。きんちょうしたけど、本当にみんな上手にできました。うれしかったです。

4年生



学芸会

金田小学校最後の学芸会

金田小学校最後の学芸会で、わたしたちは、「小さな小さなまほうつかいたちの大きな大きなぼうけんの話」というげきをしました。わたしは、まほうつかいの子どものやくをやりました。金田小学校の最後の学芸会なので、セリフや歌をおぼえるのをいっしょうけんめいがんばりました。学芸会の本番では、よいえんぎができました。とてもよい思い出になりました。

1年生から4年生までの思い出

わたしは、1年生のとき学年行事で仙台ハイランドに行きました。わたしは、友達といっしょに、たこの足が動くマシーンでいっぱい遊びました。2年生の学年行事ではたんにんの先生のむすめさんと、遊んだり、ピザを作ったりしました。3年生の遠足では、遠足で地下鉄にのりました。かまぼこ工場を見学して、かまぼこを買いました。4年生の遠足では仙台に行きました。一迫、長崎、姫松の人たちといっしょに行って交流をしました。いろいろな友だちができました。



4年遠足



金田小学校での思い出と将来の夢

金田小学校での一番の思い出は、ドッジボール大会です。ぼくは、4年生で初めて大会にできました。あまり活躍することはできなかったけど、2人にボールを当てることができました。最後にくじ引き大会があってとても楽しかったです。ドッジボール大会は一生の思い出になりました。

ぼくの将来の夢は医者になることです。ぼくのお父さんは金田地区で診療所をやっています。ぼくはお父さんにあこがれて医者になりたいです。そして大きな病院を建てたいです。



私のメメ

私の家では、カメを飼っています。名前はメメといいます。誕生日は、5月2日です。くいしんぼうなので、たぶんオスかなと思います。あばれんぼうで、エサを見ると、すぐによってきて、首を長くし、こっちを見えています。まだ子どもで目はゴマのように小さくて、鼻は針であけたくらい大きさです。私が大きくなったら、メメがどのくらい大きくなっているか楽しみです。



4年生



小学校での野球の思い出

僕は1年生のときに金田ジュニアサンダースに入りました。一迫山王クラブとの試合で初めて試合に出ることができました。守備はライトでした。初打席は三しんでした。とても残念でした。2年生になると試合でいっぱい打つことができるようになりました。3年生では10試合中8本くらいヒットが打てるようになりました。4年生で最後でしたが、花山モンスターズから5人が入ってきました。花山の人たちのおかげで試合にたくさん勝つことができました。



金田小学校の思い出

わたしの1年生ときの思い出は仙台ハイランドに行ったことです。ジェットコースターに友達とのりしました。ジェットコースターがのぼるときハラハラしてこわかったです。2年生のときは思い出の本を作りました。赤ちゃんのときのことや1年生のときのことを思い出して作りました。3年生のときは地下鉄にのりしました。こんでいてすがあいてなかったので、手すりにつかまっていたのりしました。4年生では図工の時間に土ねんどで自分で考えたシーサーを作りました。とても楽しかったです。





楽しかった思い出

ぼくの金田小学校での思い出は、メダカのことです。5年生の教室にあるメダカは先輩から受けついできたメダカです。ぼくは生き物が好きなので、5年生になって教室にメダカがいるのを見てうれしかったです。

ぼくは、放課後、友達と水そうそうじをしたり、朝に水草についていたたまごをとったりしました。水草に、白いつぶつぶが見えたので、小さなビンに入れて観察しました。ついに子メダカが生まれた時は、すごくうれしかったです。

ぼくは、4月になって一迫小学校へ行っても、生き物の世話をしたいです。

初めての合宿

私が一番心に残っている行事は、4年生の時の花山合宿です。その時まで合宿に行ったことがなかったので、私は合宿に行く日が近づくにつれて、わくわく感がどんどん高まってきて、「早く行きたいなあ。」という気持ちになったのを今も覚えています。

あと心に残っているのは、キャンプファイヤーです。雨が降り出しそうだったので、キャンドルサービスになりました。キャンドルサービスは、キャンプファイヤーと同じように火の神が火の子に火を与えてのキャンドルサービスだったのでおもしろかったです。

金田での思い出は、一迫に行っても忘れません。



思い出の行事

ぼくが一番思い出に残っている行事は、毎年やってきた運動会です。幼稚園の年少のときからやってきて、今年でもう7回目でした。

その中でもぼくが一番がんばったと思うのは、徒競走です。友達に負けないようにがんばって走りました。1位になったときもあれば、2位になってしまったときもありましたが、今ではいい思い出です。

小学生になってからは、川口ばやしもやるようになりました。ぼくは獅子舞です。最初は、リズムについていけなかったけれど、今では音がなくても踊れるくらいです。これからも、精いっぱいがんばりたいと思います。

川口ばやし、御前ばやし

ぼくの金田小学校での思い出の中に、川口ばやしと御前ばやしがあります。

ぼくは、4年生では笛をやり、5年生ではししあやしをやりました。笛は、音を出すことが難しくて、ししあやしでは、ししと息をあわせるのや腰をおろすのが大変でした。けれど、ししあやしをやって、体力をつけられたので、今はやってよかったと思っています。今年は、運動会や金田っ子フェスティバルなどでやり、成功させることができました。

金田小学校がなくなるのはさみしいですが、いつまでも川口ばやしと御前ばやしのリズムを忘れないようにしたいです。



川口ばやし

最後の金田っ子フェスティバル

11月10日、最後の金田っ子フェスティバルがありました。ぼくの班は、コロコロカーリングという遊びをしました。ぼくは後半が仕事でした。点数数えや受付に得点を教える係でした。ぼくたちの班は、後からチャレンジというのをつけて100点プラスすることにしてみたら、みんながチャレンジに来てくれました。2回も来てくれた人がいてうれしかったです。小学生、大人、お年寄りなどいろいろな人が200人近く来てくれました。

今まではお店の仕事だけでしたが、高学年として計画からできて良かったです。最後のフェスティバルは、一番の思い出です。



金田っ子フェスティバル





最後のマラソン大会

「ドン」

という音で、今年のマラソン大会が始まりました。ぼくは、練習よりいい走りをしたいと思っていましたが、緊張からゆっくりめになってしまいました。2位の人がどんどん近づいてきたので、スピードを上げ、一生懸命走りました。1周目にもどつてくると、応援の声が聞こえてうれしかったです。「がんばろう。ベストタイムを出して1位になりたい。」と思いながら走りました。

1位になったときはとてもうれしくて泣きそうでした。金メダルを見せたら、家族に「よかったね。」とほめられ、うれしかったです。

金田の伝統川口ばやし

私が、金田小学校での思い出で一番心に残っているのは、川口ばやしです。

今までで一番うまくできたのは、金田っ子フェスティバルのオープニングの時です。地域の皆さんやおうちの人に沢山拍手をもらって、終わったときはとてもすっきりし、自分でも「いい演奏ができたな。」と思えました。金田小学校最後の大きなお祭りで成功できたのは良かったです。

今年で、金田小学校は閉校するけれど、川口ばやしは、いつまでも私の心の中に、響き続けます。



岩手山合宿

ぼくが一番の思い出は、岩手山合宿です。ぼくは、合宿の前、「岩手山ってどんなところだろう。」と考えていました。バスが岩手県に入ったときは、「ドキッ」としました。いよいよ岩手山青少年交流の家についた時は、心ぞうが止まりそうなくらいドキドキしました。

いろいろな活動の中で一番心に残っているのは、野外すいじです。ぼくは野菜の担当でした。夜のキャンプファイヤーでは、それぞれの学校で出し物をしました。ぼくたちはラーメン体操をしました。他の学校の友だちと一緒にいっぱいおどりました。

楽しい3日間は、とても良い思い出になりました。



5年生

クロールができたプール

ぼくの金田小学校での思い出の場所は、プールです。理由は、初めてクロールができた場所だからです。また、毎年、夏休みには友達と一緒に遊んだ場所です。

5年生の夏、今年こそ、がんばってクロールができるようになると心に決めて、川田先生と特訓しました。何回も何回も、バタ足、息つきなどの練習を精いっぱいやりました。そして、25メートル泳ぎ切ることができました。クロールができた時は、本当にうれしかったです。それからは、ベストタイムがどんどん縮んでいき、とても気持ち良かったです。

この思い出は一生忘れません。



学芸会

10人のげき

金田小学校最後の学芸会、5年生のげきは、10人でやる「まぬけ村物語」でした。セリフが長く、一人二役をする人もいて大変でした。10人と先生とで「喜劇」に近づけるようにアドリブや動作を工夫し、練習しました。

本番当日、茶店のかげにスタンバイしていると、心臓がバクバクしていました。幕が開き、私のセリフの番がきました。お客さんが大勢いる前で、ごく緊張したけれど、自分の最高が出せたので良かったです。終わったら、みんなほっとして笑顔でした。

最後の学芸会のスローガンどおり最高の思い出になりました。





将来に生かす修学旅行

修学旅行は、お金を持っているということで、合宿などと少し違う楽しみがありました。例えば、お土産を買う時に迷いました。決められたお金の中で選んだので、よく考えました。道に迷いそうな時もあり、何とか迷わなかったからよかったのですが、迷ったらと、心配でした。いろいろな思い出がある修学旅行は、また中学3年生の時も行くらしく、その時に、今回の修学旅行であったことを生かしたいと思いました。

将来、予算の中で必要なものを買うという時に、今回行ったことを役立てたいと思いました。



修学旅行

リベンジ！お駒山

10月、僕は2回目のお駒山に登った。

初めて登ったのは、5年生の合宿の時だ。登り切る体力がなかった。実際登ってみたら大変だった。中村先生に助けをもらい、何とか登り切った。「二度と登山なんかするもんか」と思った。

あれから1年。去年のくやしさをバネにして、ぼくはもう一度登ってみた。去年と同じコースを登った。よく思い出してみたら、前よりも楽に思えた。

頂上について、「やったー。」と声が出た。かつて登れなかったこの山に、勇気と自信をもらった。

修学旅行の思い出

ぼくが楽しかった思い出の行事は、修学旅行です。修学旅行では、まず、最初に岩手公園に行きました。その後、盛岡歴史記念館に行きました。その次に岩手銀行に行きました。銀行は、明治時代の建物で、作りが複雑で、手作りの良さを感じました。ござ九では、ござ関係の品物がありました。

その次には、ぴよんぴよん舎というレストランに行きました。そこの料理は、すごくおいしかったです。ホテル大観での夕食では、なべが出たので、感激しました。次の日の小岩井農場での活動もとても楽しかったです。今度は家族で行ってみたいです。

思い出の道

小学生での思い出は、子ねこを拾ったことです。その場所は道路です。それからずっとねこを飼っています。今もたくさん飼っています。

ねこは、一番の友達です。ねこは、フワフワでモハモハなのであったかいです。冬には、いっしょにねたりします。今は16代目のねこを飼っています。ちょっぴり大変だけど、もっともっとねこを飼いたいと思います。今まで飼ったことのあるねこの種類は、4種類です。これからもっといろいろなねこを飼いたいです。

6年生



学芸会

金田小学校での思い出の場所

私が一番金田小学校での思い出の場所は図書室です。1年生から5年生までは、本を借りることにしか利用しなかったけれど、6年生になって、本を借りる以外に使うことになりました。私が相談したいことがあれば、図書室で友達に相談することがありました。夏は、図書室が涼しいので、そこで友達と本を読んだりしました。とても楽しかったです。

6年生になって、友達の大切さが分かりました。人見知りだった私も、積極的に話しかけることができました。6年間とても楽しかったです。「このクラスで良かった。」と思いました。



私の思い出の場所

私の思い出の場所は、6年生の教室です。

私は、6年生教室に初めて入ったとき、「去年の6年生みたいになれるかなあ。」と不安な気持ちでした。でも、一学期が終わると、「二学期は、何があるんだろう？」とワクワクした気持ちでいっぱいでした。6年生全員でやったカラオケ大会は、とても楽しかったです。たくさんの楽しかったこと、うれしかったことがある6年生の教室だから、私の思い出の場所です。





思い出の行事

私の思い出の行事は金田っ子フェスティバルです。班の人とお店を考えて物を作ったりするのが楽しかったです。地域の人やおうちの人にお客になってもらって、「楽しかった。」と言ってもらえるのがうれしかったです。

もう一つの思い出は、音楽祭です。平成23年から全校で参加するようになりました。今年は、最後なので大きく口を開いて、一生懸命に歌いました。また、ピアノの伴奏もしました。緊張したけど、上手に行うことができました。とても、思い出に残る行事でした。



栗原市小中学校音楽祭

6年生

尊敬する人

ぼくの尊敬する人。それは、お父さんです。なぜなら、絵がうまいからです。どれくらい上手かという、見てかくと本物そっくりにかけられるので。それにぼくの将来の夢が、クリエイターのデザイナーです。「お父さんのように上手にできるのかなあ。お父さんのように絵が上手になったらいいなあ」と思いました。

お父さんに絵のコツを聞いたら、「集中力」と言われて、自分は「集中力がないなあ」と思ったので、これから集中力をつけようと思います。



思い出の金田っ子フェスティバル

私が、金田小学校での思い出で特に心に残っているのは、金田っ子フェスティバルです。金田っ子フェスティバルには、幼稚園の時から参加していました。いろんなお店をまわって、いろんな遊びをして、とても楽しかったです。

小学校に入学したら、お兄さんお姉さんとお店の準備をしたり、3年生になってお客さんを呼び寄せる仕事をしたりもしました。そして、4年生の時からはお店番をして、地域の方々などと直接ふれ合うことができ、貴重な体験ができました。金田小学校にしかない金田っ子フェスティバルは本当に大切な思い出でした。

思い出の校庭

ぼくが一番心に残っている場所は、校庭です。理由は、休み時間の時に友達と遊んだり、運動会や体育の授業で使ったりしたからです。ときどきぼくは、「20年後の校庭はどうなっているのかな。」と思いました。

次に思い出に残っている場所は、体育館です。理由は、学芸会や朝会などいろいろなことで使ったからです。ぼくは、「今年で終わりなのでとてもさみしいなあ。」と思いました。

今年で学校が閉校してしまうので一日一日を大切にしていきたいと思います。

放送室は 思い出の場所

ぼくの思い出の場所は、放送室です。その理由は、放送・運動委員会に所属しているからです。先輩から、放送機器の使い方を教えてもらいました。慣れてくると雑にしてしまう時があります。仲の良い友達と給食を食べながら放送したり、行事の時に放送機器をセットしたりしたことが思い出です。だから、学校がなくなるのがすごく残念でさみしい気持ちになります。だからぼくは、放送室に入るといつも「はあ〜。」とため息をついてしまいます。たまに下級生から「ありがとう。」と言われるのがうれしいです。

金田小学校での思い出

わたしは、金田小学校の思い出の中で一番楽しかったのは学年行事です。みんなでボウリングをしました。子供会で行ったことは何回もあったけど、ボウリングは学年行事の時が一番でした。ストライクを出した時やスペアの時は、みんなが、「すごいね。」と言って、ハイタッチをしました。

そのあとにはバイキングをしておなかがパンパンになるまで食べました。特に、クレープやわたあめを作りました。とってもおいしかったです。学年行事は、最高に楽しい思い出でした。



栗原市陸上大会





伝統の流れとともに

中村 庄樹

私にとっての金田小学校といえば、伝統芸能である「川口ばやし」です。赴任して最初の行事「一年生を迎える会」で初めて「川口ばやし」と出会いました。子どもたちだけで、篠笛や太鼓を操り、身体が踊るような太鼓のリズムと笛の音、獅子舞のすばらしさに感動したのを覚えています。そして、毎年先輩から後輩へ引き継ぐ「川口ばやし引き継ぎ式」の厳粛な様子に目頭が熱くなった思いは忘れられません。金田の子供たちの明るく優秀な姿は、このように地域と共に代々引き継がれて来たものです。この地で6年間お世話になったことに感謝します。

思い出の音楽祭

鈴木真木子

私は平成20年4月から5年間お世話になりました。2度の大きな地震等、様々な出来事がありました。その中で思い出されるのは、栗原市音楽祭に全校合唱で参加したことです。昨年度は「カントリーロード」と「歌はぼくらの友達」今年度は、「語りあおう」と「七色アーチ」を歌いました。今年は、最後の発表ということもあり、職員もいっしょにステージで歌いました。金田っ子の歌声は、私の心の中で響き続けることでしょう。

ありがとう 金田

阿部 明子

私は、教員生活の3分の1をこの金田でお世話になりました。思い起こせば、今の教え子のお父さんやお母さんと一緒に勉強や運動はもちろん、たくさん楽しい行事を体験してきました。リヤカーに鍋釜をつけて牛渕まで歩いた野外炊飯、火伏せまつり、川口ばやしなど、前回と比べると人数は減りましたが、いつも元気で明るく気持ちの優しい子どもたちと、地域の皆様方からたくさんのお話を学ばせていただきました。ありがとう私の金田。

金田で過ごした3年間

山下 雅史

学校の周りは田んぼに囲まれ、西側には民家や商店、神社が建ち並ぶ。3年間、社会科や総合の学習を子どもたちと一緒にしながら、少しずつ金田地区のことが分かってきました。地域学習をとおして、金田に住む人たちの優しさや伝統文化「川口ばやし」に触れることができたのは、自分の財産になりました。学校が閉校になるのはさびしいですが、周りの風景はこれからも長く、今のままであってほしいと願っています。再びこの地を訪れたとき、この3年間の出来事を懐かしく思い出せるように。

ありがとうございました金田小

三浦 崇

金田小には最初に平成21年度に赴任し、22年度まで2年間勤務しました。金田小にはいろいろな思い出があります。特に二年目に体育関係で運動会の担当をしたことや視聴覚関係の仕事で、6年生に卒業の動画を作ったことが思い出に残っています。そして、東日本大震災の経験も印象に残っています。その後、1年間他校に勤務しましたが、再び縁があって平成24年度は金田小に勤務することになりました。金田小には沢山お世話になり、閉校することは残念ではありますが私自身の中で一番思い出に残る学校になったと思います。

忘れられない歌声

川田 公子

3年前、金田小学校に赴任してまずびっくりしたのが、体育館いっぱい響く子どもたちの校歌でした。「この人数でこんなに！」と、これまで勤務した200人規模の学校に負けない歌声に本当に驚いたものでした。素直で何事にも一生懸命な金田の子どもたちが、あの歌声によく表れているなあと思います。そんな子どもたちや温かい地域・保護者の皆様と過ごすことができた3年間は、本当に楽しく忘れられない思い出でいっぱいです。ありがとうございました。

ありがとう

後藤 忠義

平成9年度から合計8年間を本校に勤務しました。私は、金田小学校に運命的なものを感じます。それは、母親の実家が新町にあり、本校（金田国民学校）の卒業生だからです。また、祖父、伯父母や従兄弟（疎開先も含む）を数えると16名以上になります。それらの人たちの台帳類が校長室の金庫に眠っていると考えると、その時代に生きた証しと歴史観、そして、私の人生観へと伝わってきます。





閉校に寄せて

伊藤 玲子

2年前、栗原にきて初めての勤務校となったのが金田小でした。山あいの川の流れが聞こえてくる環境の中で楽しい1年を過ごしました。学校の田んぼで育てたもち米を地域の方ともちにして食べたこと。縦割り班でリヤカーになべ材料を積みこみ、牛蒡で食べた芋煮。楽しいことが思い出されます。そして、最後の1年を金田小で過ごせたことが一番の思い出です。

閉校に向けて

久光 望

今年の4月に赴任し、金田小最後の1年に携われたことを光栄に思います。素直で元気いっぱいの下学年の子どもたち、お世話上手で進んで仕事を行う上学年の子どもたちと一緒に活動することができ、私もたくさんの思い出をもらいました。母校がなくなることはとても寂しく残念なことです。子どもたちには、これまでの歴史や伝統を忘れないとともに、この金田小で成長した自分に誇りをもって前に進んでいってほしいと願っています。

思い出の金田小学校

千葉 修子

縁があって、2度目の赴任地となり、あの頃子ども達が親となっています。当時の健康教育は、裸足運動と乾布摩擦が奨励されていて、子ども達が裸足でたくましく校庭を走り回る光景は、新任の私には衝撃的だったのを覚えています。子ども達と年齢に近いこともあり、保健室は賑やかで、校長先生に注意されたことも懐かしい思い出となっています。時が流れ、時代が変わっても子ども達の笑顔と優しさは変わらない事に幸せを感じています。

金田小学校へ赴任して

畠山亜希子

「とても人懐っこい子どもたちだなあ」

金田小学校に赴任し、子どもと初めて接したとき、一番感じた事です。

運動会・学芸会・交通指導教室などの行事の際に、様々な角度から地域の方々の協力をいただき、協力体制が整っている地域だと感じました。

2年間という短い期間ではありましたが、今までありがとうございました。

思い出のよっちょれ

狩野 愛

金田小には通算で4年お世話になり、たくさんの行事に参加させていただきました。

一番思い出に残っているのは、運動会での「よっちょれ」です。暑い中、子どもたちと一緒に練習は体力の限界でしたが、子どもたちに背中を押され楽しく練習することができました。運動会当日は地域の方々から温かい拍手を頂きうれしかったです。練習から参加して子どもたちと一緒に踊ったことが一番の思い出です。

3年間の金田小学校

千葉 賢

3年前の春にこの金田小学校にやってまいりました。学校業務は経験がなく不安いっぱいでしたが、先生、保護者、地域の方々の温かい心遣いでとても助けられました。初めは、少しでも子供たちの手助けができればいいと思っていましたが、いつの間にか子供たちから感動をもらい、逆に私が学校に来ての楽しみが増しました。残念ながら、本年度をもって長い歴史の幕を閉じますが、金田の子供たちの活躍を期待しています。

忘れられない金田小

高橋 美至

金田小学校というと、素直な子どもたち、何事にも協力的な保護者の皆様や温かく見守って下さる地域の方々、そして先生たち、すべての方々との出会いが私の宝物として心に今、思い浮かびます。思い起こせば、子どもたちとは、さくらんぼの「種飛ばし」をしたり、保護者の皆様に協力して頂きながら「タイムカプセル」にして子どもたちの思い出を埋めたりしたこともありました。私にとって、一生忘れることのできない学校です。





昔話を聞く会



いちばさま紙芝居一座の公演



川口ばやし継承



なかよくする子

金田小学校では幼少合同の活動のほか、縦割り活動や地域の皆さんとの交流を通して、思いやりや感謝、尊敬する心を育てています。

また、地域の人材や施設を活用しての学習を積極的に取り入れ、郷土を知り、地域を愛する教育に力を入れてきました。



教育目標
明日を拓く、
心豊かでたくましい
子どもの育成

川口ばやし引継式



しめ縄作り（ことぶき大学の方々と）



きらりタイム（業前）

進んで学ぶ子

業前の「きらりタイム」での反復学習や、放課後の「ふれあいタイム」での個別指導、長期休業中の「ケアタイム」での補充・発展学習の充実も図ってきました。このほか、「漢字検定」にも挑戦しました。



ふれあいタイム（放課後）



校内マラソン大会

たくましく活動する子

年間を通して、水曜日の業前活動で「朝マラソン」や「なわとび運動」に取り組みました。その成果は秋のマラソン大会や冬のなわとび発表会で発揮されました。



なわとび発表会



入学式



一年生を迎える会



運動会



運動会



遠足 (3年生)



スポーツテスト



西部水泳記録会



プール納め





金田地区市民体育大会



栗原市陸上大会



川口ばやし



宮城県教育研修センター科学巡回訪問



政岡まつり



金田盆踊り大会



火伏せまつり



政岡まつり



明治仮校舎洞林寺川口小学校



川口尋常高等小学校

金田国民学校



改築前の金田小学校



一迫町立金田小学校

校舎変遷



現校舎





授業風景（明治大正）



卒業記念（昭和初期）



鼓笛隊（昭和中期）



航空写真（昭和中期）



（昭和後期）



川口ばやし初披露卒業式（昭和後期）



給食風景（昭和後期）



七夕まつり（昭和後期）



栗原市立金田幼稚園

ありがとう金田幼稚園



金田幼稚園の歌

- 一 桜がさいた きれいにさいた
おにわのくさも わらうてる
ぼくもわたしも げんきよく
ごへんじきれいな 金田幼稚園
- 二 蛙がないた けろけるないた
空のひごいも およいでる
ぼくもわたしも のびのびと
なかよしこよし 金田幼稚園
- 三 紅葉があかい 紅葉がおちる
たきびのいもが におってる
ぼくもわたしも あたたく
あかるいえがおの 金田幼稚園
- 四 雪がふった 粉雪ふった
山も野原も まっしろい
ぼくもわたしも 風の子よ
寒さまけない 金田幼稚園





金田幼稚園の沿革

| 年度 | 園長 | (男)園児数(女) | | 事項 |
|----------|----------|-------------|----------------------------------------|-----------------------------------------------------|
| 昭和 | 43 谷田 了誓 | 20 | 28 | 一迫町立幼稚園金田分園として認可発足 |
| | 44 " | 13 | 19 | |
| | 45 遊佐 強 | 18 | 10 | |
| | 46 " | 12 | 11 | |
| | 47 " | 16 | 14 | |
| | 48 狩野 義章 | 12 | 22 | 園の歌を作る カラーテレビ、石油ストーブ設置 |
| | 49 " | 10 | 12 | |
| | 50 菅原 饒 | 26 | 8 | |
| | 51 " | 11 | 19 | プール修理完成 |
| | 52 " | 11 | 16 | |
| | 53 " | 15 | 13 | 園舎屋根葺替工事 |
| | 54 " | 6 | 9 | 幼稚園通路舗装工事 |
| | 55 佐藤 功 | 17 | 8 | |
| | 56 " | 12 | 9 | |
| | 57 " | 15 | 18 | |
| 58 " | 18 | 12 | ジャングルジム取壊し | |
| 59 " | 23 | 14 | | |
| 60 白鳥 規雄 | 13 | 12 | テラス、園舎塗装 | |
| 61 " | 17 | 9 | ホール窓棚取付け、職員トイレ水洗工事 | |
| 62 君ヶ袋正昭 | 8 | 14 | 園児用トイレ改修、園庭遊具移転 | |
| 63 " | 10 | 14 | タキロン屋根改修、ホールの畳改修 | |
| 平成 | 元 佐藤 正美 | 13 | 12 | ポータブルプレーヤー、石油ストーブ設置 |
| | 2 " | 14 | 13 | 園庭側溝、屋根塗装、職員室床改修 |
| | 3 " | 18 | 3 | 保育室床改修、カラーテレビ設置 |
| | 4 津軽 徳聰 | 9 | 18 | ホール・廊下一部床改修、こいのぼり |
| | 5 " | 7 | 9 | ホール・廊下一部床改修、プール、砂場遊具、子供の家 |
| | 6 菅原 賢 | 9 | 9 | 一迫町立金田幼稚園として認可、サッカーゴール、焼却器、 |
| | 7 " | 6 | 11 | 木琴15台、石油ストーブ |
| | 8 " | 11 | 8 | 現在地に園舎移転新築、木琴スタンド 牛乳保管庫、消火器 |
| | 9 佐藤 鐵哉 | 8 | 5 | 園庭遊具設置 |
| | 10 " | 12 | 8 | 園庭整備、駐車場通路舗装工事 |
| | 11 " | 4歳 5歳 4歳 5歳 | 5 4 5 8 | 2年保育実施(4歳児、5歳児)、父母教師会「あやめの会」発足(4月) 通園タクシー運行(11月) |
| | 12 鈴木 達朗 | 7 5 | 4 5 | 少子化対策補助金、通園ワゴン車運行、【心を育む教育活動推進園】 |
| | 13 " | 8 7 | 12 4 | 園庭整備 |
| | 14 家喜 克彦 | 5 8 | 7 12 | スピーカー取付け |
| | 15 " | 8 5 | 4 8 | 園庭遊具塗り替え、緑のボランティア植樹 |
| | 16 " | 5 8 | 9 4 | デマンド送迎タクシー運行 |
| 17 青沼 陽一 | 6 5 | 5 9 | 栗原市立金田幼稚園の名称となる | |
| 18 " | 7 6 | 3 6 | 花壇整備 | |
| 19 " | 2 7 | 4 3 | 固定遊具改修、プール修理 | |
| 20 佐藤 賢一 | 4 2 | 3 4 | 鉄棒、カラートンネル、ままごと用畳、サッシ修理(災害復旧費) | |
| 21 " | 10 4 | 4 3 | 修繕(雨木通、時計、浄化槽ブロワー用Vベルト、灯油タンクバルブ、天井ファン) | |
| 22 大竹 恵子 | 3 9 | 4 4 | 幼年消防クラブ新加入 | |
| 23 " | 5 3 | 2 4 | 栗原市幼稚園教育研究会にて保育公開 | |
| 24 " | 0 5 | 6 2 | 栗原市立金田幼稚園閉園(一迫幼稚園と統合) | |





運動会



玉入れごっこ



幼年消防クラブ



プール遊び



スイカ割り



親子遠足



人形観劇会



学芸会 劇「ももたろう」





学芸会 ダンス



一迫紙芝居一座



ファッションショー



親子クッキング



保育参観



栽培活動



豆まき会



こいのぼり会



金田幼稚園が大好きな子どもたち。特別な思い出を、いつの日も忘れずに笑って思い浮かべることができたらいいですね。その愛らしい笑顔でこれからも頑張ってください。

佐藤 淑恵

金田幼稚園の子どもたちとともに行事を通したくさんの事を学んで体験をし、私にとって生涯忘れられない日々を過ごすことができました。

今後も子どもたちが元気で頑張ってくれることを祈っています。

山田 美穂



勤勉で努力を惜しまない地区で育まれた金田っ子。知恵は万代の宝です。

阿部 たまえ





金田幼稚園としての最後の年を過ごせ、とても嬉しく思います。何事にも目をキラキラさせて取り組む姿が印象的です。笑顔いっ



ぱいの金田っ子。



これからも精一杯頑張ってください。



狩野 美恵



さよなら 金田幼稚園

最後の2年間お世話になりました。

明るい子どもたち・教育熱心な保護者のみなさん・やさしく見守っていただいた地域の
方々・そして協力し合った職場のみんな、楽しい思い出をありがとうございました。



小野寺 玲子



あとがき

栗原市立金田小学校
教頭 佐々木 正弘

一迫地区の小学校・幼稚園の再編計画により、平成24年度をもって、長い歴史と伝統ある金田小学校と金田幼稚園は、その幕を閉じることになりました。

この度の閉校・閉園にあたり、栗原市長 佐藤 勇様、栗原市教育委員会教育長 亀井 芳光様をはじめ、歴代の関係者の方々や諸先輩方、卒業生の皆様から、ご寄稿いただきましたことに深く感謝申し上げます。また、多くの方々のご協力で、このような金田小学校の思い出の数々と幼稚園のあゆみをまとめることができ、ホームページ上や記念誌で紹介できる運びとなりましたことに心から御礼申し上げます。

金田小学校は、明治6年に洞林寺に児童数54名で開校して以来、様々な出来事がありました。明治以降も度々の大火に遭い「火伏せの祭り」が盛んになったことが、金田小の伝統芸能の「川口ばやし」として今に受け継がれてきました。また、現在は、交通事故「無事故記録更新」が6900日を超え、本校の安全教育の柱の一つとなり、子どもたちの安全への意識を高めてきました。

金田幼稚園は、昭和43年に幼稚園としての認可を受け、現在に至りますが、恵まれた自然環境での保育に加え、地域の教育力や小学校との隣接の良さを生かしたさまざまな園教育を実践してきました。

こうした伝統を築いてきてくださった方々のたくさんの思い出と愛情が、今回の寄稿文や写真、資料等に詰まっています。ぜひ、多くの方々に見ていただき、金田小学校と金田幼稚園のことを懐かしく振り返ったり、次の世代に伝えたりしていただければ幸いです。

平成25年度からは、一迫地区4校の統合による一迫小学校と、2園が統合しての一迫幼稚園として新たな歴史を刻んでいくこととなります。子どもたちが、金田の良き伝統と地域の熱い思いを心の支えとし、新しい学校・園の良さをたくさん吸収して、よりたくましい「金田っ子」として活躍してくれることを願っています。私たち教職員も、子どもたちの成長と輝く未来を温かく見守り続けながら、今後も教育活動に情熱をもって邁進してまいりますので、今後とも一層のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます、あとがきといたします。

校木 かつら

柔らかく木目がまっすぐで変形が少ない木。未来に生きる子どもたちが心温かく困難にうちひしがれることなく、健やかに成長していくことを願い制定



栗原市立金田小学校閉校・金田幼稚園閉園記念誌

発刊 平成25年3月
発行 栗原市教育委員会
企画・編集 栗原市立金田小学校・金田幼稚園
閉校・閉園記念事業実行委員会



